

津島市スポーツに関するアンケート調査

報告書

【抜粋版】

令和6年3月

津 島 市

## 目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の実施概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象及び抽出条件.....	1
(3) 調査期間及び回収率等.....	1
(4) 調査内容.....	2
2. 報告書の見方.....	3
(1) 本書を読む際の留意事項.....	3
(2) 本書で結果を比較する調査の概要.....	3
3. 調査結果の概要及び考察.....	4
第2章 市民アンケート調査.....	6
1. あなたご自身のことについて.....	6
2. 運動・スポーツの実施について ～「する」スポーツ～.....	8
3. スポーツの観戦について ～「みる」スポーツ～.....	17
4. スポーツに関するボランティア活動について ～「ささえる」スポーツ～.....	19
5. 共生社会の実現について.....	21
6. 公共スポーツ施設について.....	22
7. スポーツ振興施策について.....	26
第3章 小中学生アンケート調査.....	27
1. あなたご自身のことについて.....	27
第4章 スポーツ団体アンケート調査.....	32
1. 貴団体について.....	32
2. 運営状況について.....	33
3. 指導者等の状況について.....	34

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の実施概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、市民のスポーツや運動に関する現状や、これからのスポーツの推進に対する意見やニーズを把握し、今後、策定を予定している「津島市スポーツ推進計画（仮称）」の基礎資料とすることを目的として実施した。

#### (2) 調査対象及び抽出条件

##### ① 市民アンケート

対象	市内在住の16歳以上の市民
抽出条件	令和5年12月28日時点の住民基本台帳より3,000人を無作為抽出

##### ② 小中学生アンケート

対象	市立の小中学校に通う小学5年生と中学2年生
抽出条件	令和6年2月1日時点で市立の小中学校に在籍している小学5年生と中学2年生それぞれ全数

##### ③ 団体アンケート

対象	市内のスポーツ団体及び学校体育施設登録団体
抽出条件	令和5年12月28日時点の登録団体の全数

#### (3) 調査期間及び回収率等

##### ① 市民アンケート

配布数	3,000件
回収	1,107件（郵送回収：866件、インターネット回答：241件）
回収率	36.9%
調査期間	令和6（2024）年2月1日～2月20日

##### ② 小中学生アンケート

配布数	954件（小学校433人 中学校521人）
回収	831件
回収率	87.1%
調査期間	令和6（2024）年2月1日～3月5日

③ 団体アンケート

配布数	83 件 配布数の内訳 ・スポーツ協会：18 件 ・スポーツ少年団：5 件 ・総合型地域スポーツクラブ：1 件 ・学校開放事業の登録団体：59 件
回収	60 件 回収数の内訳 ・スポーツ団体 18 件 (郵送回収：5 件、インターネット回答：13 件) ・学校体育施設登録団体 42 件 (郵送回収：33 件、インターネット回答：9 件)
回収率	72.2%
調査期間	令和 6 (2024) 年 2 月 13 日～3 月 21 日

(4) 調査内容

調査名称	調査内容
市民アンケート (報告書中「市民」と略)	1. 調査対象の基本属性 2. 運動・スポーツの実施について 3. スポーツの観戦について 4. スポーツに関するボランティア活動について 5. 共生社会の実現について 6. 公共スポーツ施設について 7. スポーツ振興施策について
小中学生アンケート (報告書中「小中学生」と略)	1. 調査対象の基本属性 2. 運動・スポーツの実施について 3. スポーツの観戦について 4. スポーツに関するボランティア活動について 5. 共生社会の実現について
団体アンケート (報告書中「団体」と略)	1. 調査対象の基本属性 2. 運営状況について 3. 指導者等の状況について 4. 公共スポーツ施設について 5. スポーツ振興施策について

## 2. 報告書の見方

### (1) 本書を読む際の留意事項

本書を読む際の留意事項は以下の通りである。

- 図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、単一回答の設問であっても、割合の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を分母として選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- クロス集計表は無回答者を除いて表示しているため、「全体」のNと表側（左側の列）のNの合計が一致しない場合がある。
- 調査結果全体の中から抜粋して掲載しているため、設問番号が連続していない。
- 単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフを用いて結果を示している。

### (2) 本書で結果を比較する調査の概要

参考資料として、国や県のスポーツに関する調査結果と比較しているページがある。それぞれの調査概要は以下の通りである。

調査種類	比較する調査名称	調査主体	実施時期
市民アンケート調査	スポーツの実施状況等に関する世論調査	スポーツ庁	令和4年12月7日～ 令和4年12月27日
	次期愛知県スポーツ推進計画基礎調査	愛知県	令和3年12月
小中学生アンケート調査	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	スポーツ庁	令和4年4月～7月

### 3. 調査結果の概要及び考察

#### (1) 運動・スポーツの実施について ～「する」スポーツ～

- ・ 市民アンケート(以下「市民」)のうち、体力に不安がある割合が5割半ばと多く、特に30・40歳代、70歳代以上が「どちらかと言えば体力に不安がある」割合が多くなっている。また、運動不足を感じている割合は8割強であり、特に30・40歳代において「大いに感じる」割合が多くなっている。
- ・ 市民のスポーツ実施率(週1日以上で運動やスポーツを行った日数の割合)は49.3%、小中学生アンケート(以下「小中学生」)では75.2%である。市民は全国、愛知県の割合に比べ低い状況となっている。スポーツ実施率が低いのは、男性30～50歳代、女性16～20歳代、女性30・40歳代であり、特に子育て・働き世代のスポーツ実施率が低くなっている。
- ・ 今後、スポーツ実施率が低く、運動不足を感じている世代である子育て・働き世代(30・40歳代)や、体力に不安がある70歳代以上など、年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進を進めていく必要がある。
- ・ 運動やスポーツを実施するきっかけとして、「運動ができる場や機会の情報が得られれば」「医師からすすめられれば」の割合が多い。このため、スポーツに関する情報提供の充実などを図っていくことが対策として考えられる。
- ・ 津島市総合型地域スポーツクラブについて、「知らない」割合が7割半ばであり認知度が低いため、「参加したいと思わない」割合が7割弱となっていると考えられる。一方で「参加したい」割合が3割弱あるため、今後、積極的に団体や活動内容の周知を図り、認知度を向上させ、参加を促していく必要がある。

#### (2) スポーツの観戦について ～「みる」スポーツ～

- ・ 市民・小中学生共に「テレビ・インターネット等で観戦した」割合(8割弱・7割弱)が多く、小中学生では「市内の会場で観戦した」「市外の会場で観戦した」割合が市民よりも多くなっている。
- ・ 国の調査と比較すると、本市のスポーツの直接観戦率は全国とほぼ同水準であり、本市のスポーツのテレビ等での観戦率は全国に比べ約5ポイント上回っており、スポーツ観戦に興味が高い傾向にある。
- ・ 今後さらに観戦率をあげていくための取組・工夫として、「自宅などから行きやすい場所で開催されれば」の割合が5割半ばであり、身近な場所でのスポーツ観戦環境が求められていることが分かる。

#### (3) スポーツに関するボランティア活動について ～「ささえる」スポーツ～

- ・ スポーツに関するボランティア活動について、「日常的・定期的に行った」「イベント・大会で不定期に行った」割合が市民・小中学生共に1割未満となっている。一方で、「ボランティア活動に関心がある」割合は市民で2割弱、小中学生で4割半ばであり、小中学生の関心度が高い。このため、小中学生を中心に子どもの頃からのボランティア活動への参加機会を増やしていくことが考えられる。
- ・ スポーツ団体の運営状況について、運営を担う人材不足や高齢化を感じている団体が多くなっている。また、指導者の高齢化や審判員が少ないと感じている団体が多い。スポーツ団体の継続的な運営への支援や指導者・審判員の確保などが求められる。

#### (4) 共生社会の実現について

- ・ 「障がい者スポーツという言葉を知っている」割合が市民では5割弱、小中学生では5割半ばとなっている。
- ・ 「障がい者スポーツをやったことがある」割合が市民では1割未満、小中学生では1割強となっている。
- ・ 今後、津島市において障がいのある人でもスポーツや運動を実施しやすい環境をつくるためには、「イベント・教室などの体験機会の充実」や「障がい者スポーツについての理解促進・PR」を行っていくことが必要とされている。

#### (5) 公共スポーツ施設について

- ・ 今後、整備・充実が求められる公共スポーツ施設の種類として、市民では「屋内プール」「室内トレーニング施設」、小中学生では「体育館」「運動場」、団体アンケート(以下「団体」)では「体育館」「屋内プール」が最も多くなっている。市民では個人利用が多いこと、団体・小中学生では団体利用や大会等での利用が想定されることから、求められる施設種類が異なることが考えられる。
- ・ 今後、公共スポーツ施設に求めることとして、市民では「利用料の安さ」「施設の新設・既存施設の改修」、団体では「施設の新設・既存施設の改修」「暑さ・寒さ対策への対応」となっている。
- ・ これまでに公共スポーツ施設を利用したことのない方の理由として、「利用方法が分からないから」、「利用したい施設(設備・規模)がないから」が挙げられており、今後の課題として、施設利用にあたっての情報発信や施設内容の充実を図っていく必要があると考えられる。

#### (6) スポーツ振興施策について

- ・ 市民、団体共に「スポーツ施設・設備の整備・充実」が最も多く、団体では「各種スポーツ大会・イベントの開催」が挙げられている。このため、ハード整備・ソフト対策の面からスポーツ環境の充実が求められていることが分かる。
- ・ 次いで、市民では「年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進」や「広報・PR」が挙げられており、年齢やライフステージに合わせた活動内容や情報発信手法などが必要とされていると考えられる。

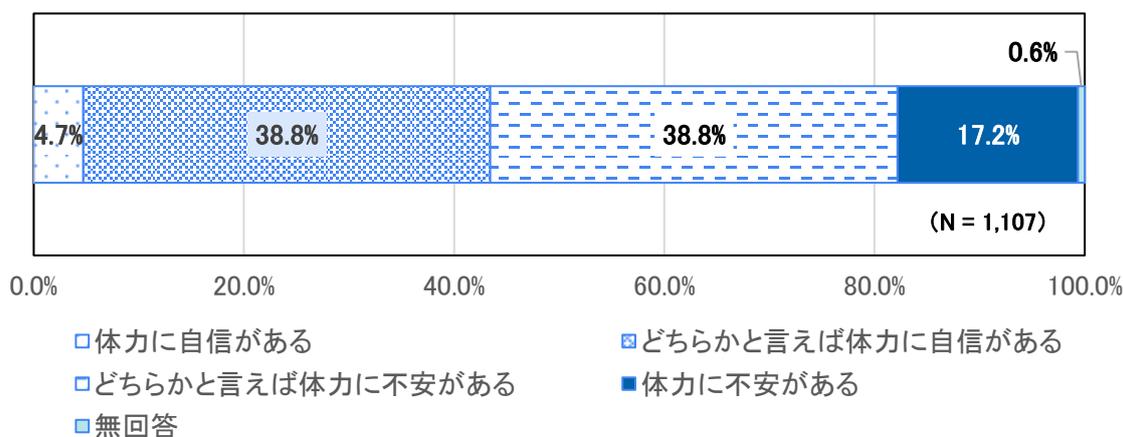
## 第2章 市民アンケート調査

市民アンケート調査項目のうち、小中学生・団体アンケートとの共通設問について比較分析のため、本章で掲載している。

### 1. あなたご自身のことについて

問 5 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。（○は1つ）

- 「体力に自信がある」「どちらかと言えば体力に自信がある」を合わせると 43.5%であり、「どちらかと言えば体力に不安がある」「体力に不安がある」が 56.0%となっており、体力に不安がある割合が多くなっている。



### ■性別×年代

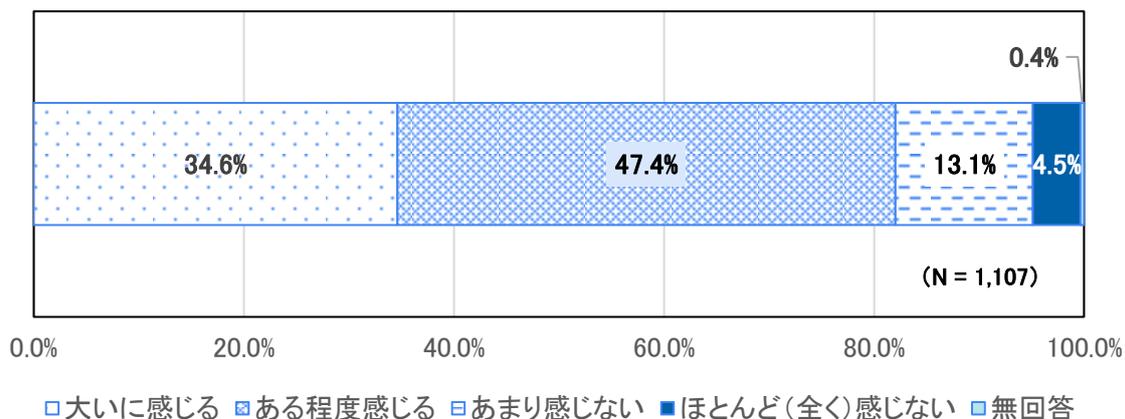
- 男女別では、男性は「どちらかと言えば体力に自信がある」、女性は「どちらかと言えば体力に不安がある」が多くなっている。
- 年代別では、30・40歳代、70歳代以上が「どちらかと言えば体力に不安がある」が多くなっている。

	体力に自信がある	どちらかと言えば体力に自信がある	どちらかと言えば体力に不安がある	体力に不安がある
全体(N=1,107)	4.7%	38.8%	38.8%	17.2%
男性(N=476)	7.1%	43.9%	35.5%	13.2%
女性(N=620)	2.9%	35.5%	41.3%	19.8%
16～19歳(N=132)	12.9%	42.4%	25.8%	18.9%
30～39歳(N=74)	2.7%	36.5%	45.9%	14.9%
40～49歳(N=132)	2.3%	37.1%	43.9%	16.7%
50～59歳(N=179)	3.9%	44.7%	40.8%	10.6%
60～69歳(N=197)	1.0%	45.7%	39.6%	13.7%
70歳以上(N=389)	5.4%	32.4%	38.8%	22.1%

※上位2位を着色

問 6 あなたは、普段、運動不足を感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「大いに感じる」「ある程度感じる」を合わせると82%であり、運動不足を感じている割合多くなっている。



■性別×年代

- ・ 年代別では、30・40歳代が「大いに感じる」が多くなっている。

	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど(全く)感じない
全体(N=1,107)	34.6%	47.4%	13.1%	4.5%
男性(N=476)	29.8%	48.1%	14.7%	7.4%
女性(N=620)	38.1%	47.3%	12.1%	2.4%
16～19歳(N=132)	34.8%	37.1%	18.9%	9.1%
30～39歳(N=74)	54.1%	36.5%	8.1%	1.4%
40～49歳(N=132)	49.2%	40.2%	7.6%	3.0%
50～59歳(N=179)	39.7%	48.0%	8.4%	3.9%
60～69歳(N=197)	30.5%	56.9%	10.7%	2.0%
70歳以上(N=389)	25.7%	50.9%	17.2%	5.7%

※上位2位を着色

## 2. 運動・スポーツの実施について ～「する」スポーツ～

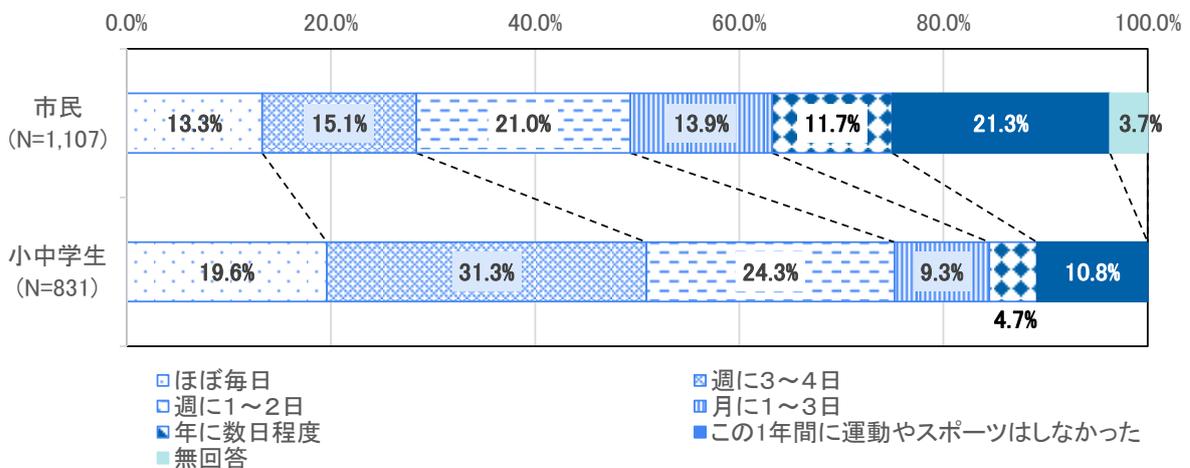
問7で運動やスポーツを行った方に伺います。

問8 あなたが、この1年間で運動やスポーツを行った日数は、およそ何日くらいになりますか。

問8においては問7「この1年間に運動やスポーツはしなかった」「無回答」を含めた本調査全体の回答者数(1,107人)で除した割合を算出した。

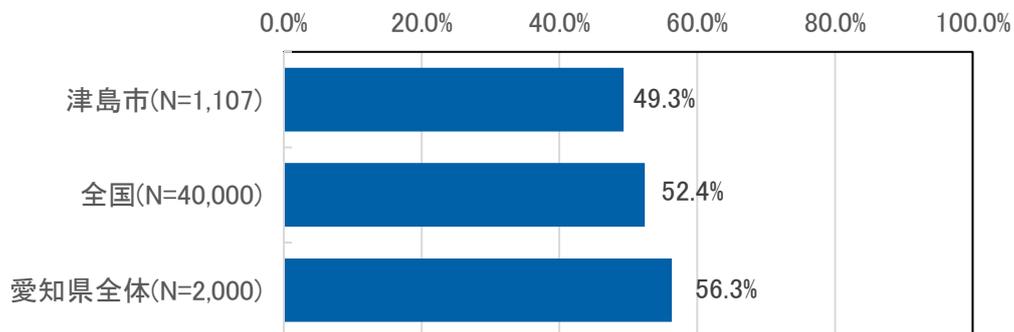
- ・ 市民では、「この1年間に運動やスポーツはしなかった」が約21%と最も多くなっている。週1日以上で運動やスポーツを行った日数の割合(スポーツ実施率)が49.3%となっている。
- ・ 小中学生では、「週に3～4日」が31.3%と最も多くなっている。週1日以上で運動やスポーツを行った日数の割合(スポーツ実施率)が75.2%となっている。

### ■市民・小中学生アンケートの比較



### 【国や愛知県の調査との比較】 週1日以上の実施率 (市民)

- ・ 本市の週1日以上の実施率は、全国、愛知県の割合に比べ低い状況となっている。

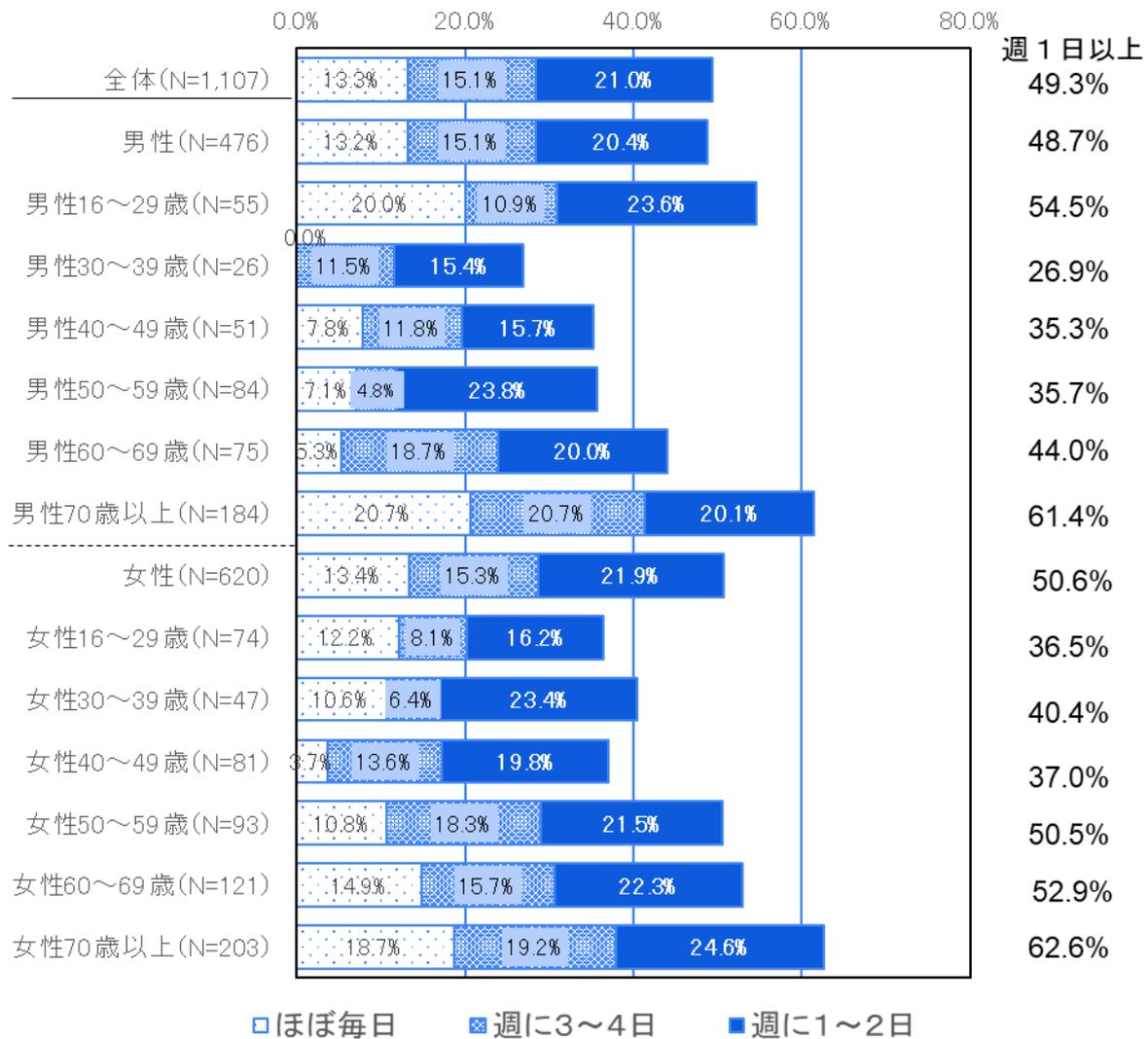


注) 国の調査とはスポーツ庁の令和4年「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を指し、愛知県の調査とは令和3年「次期愛知県スポーツ推進計画基礎調査」を指す。

■市民(性別/性別×年齢)

週1日以上のスポーツ実施率を、「性別」、「性別×年代別」の視点で集計した。

- ・ 全体(49.3%)と比べ特に低いのは、「男性30歳代」26.9%、「女性16～20歳代」36.5%「女性40歳代」37.0%である。一方、特に高いのは「男性70歳以上」61.4%、「女性70歳以上」62.6%である。



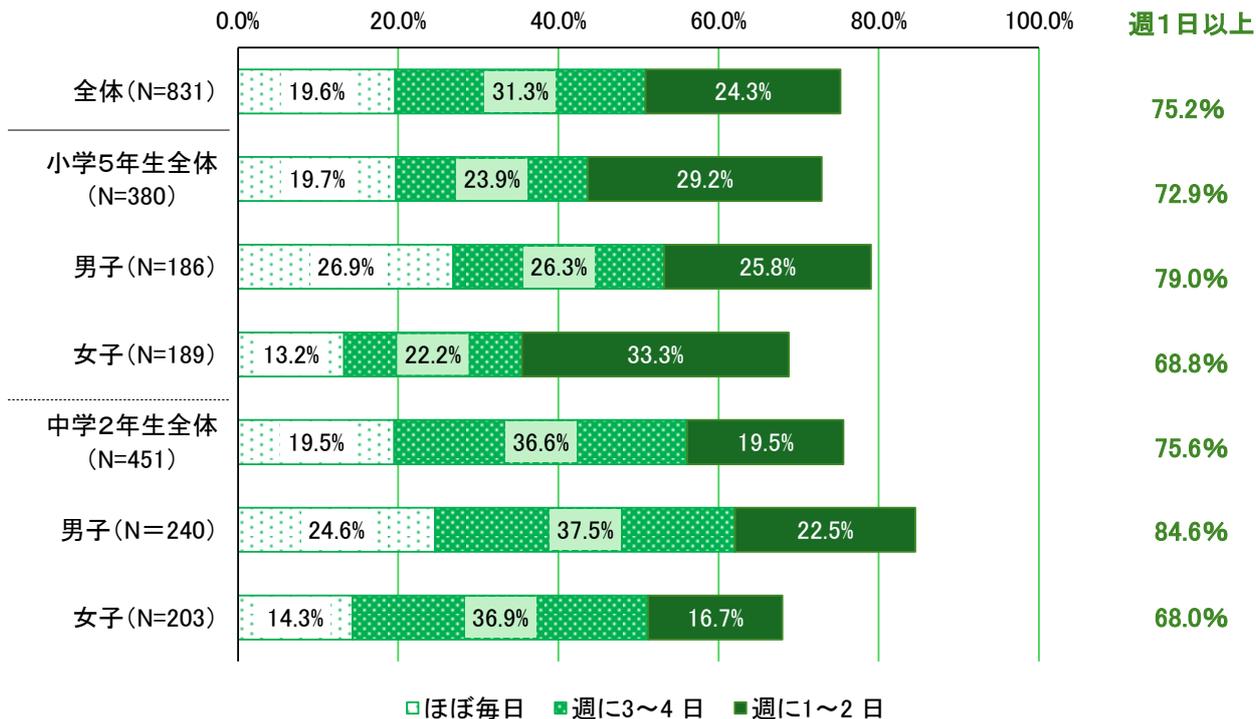
■小中学生アンケート

問 9 あなたが、この1年間で運動やスポーツを行った日数は、およそ何日くらいになりますか。  
(○は1つ)

問 8 において「この1年間に運動やスポーツはしなかった」「無回答」を含めた本調査全体の回答者数(831人)で除した割合を算出し、週1日以上の実施率を、「学年×性別」の視点で集計した。

- ・ 全体(75.2%)と比べ特に低いのは、「中学2年生女子」68.0%、であり、特に高いのは「中学2年生男子」84.6%となっている。

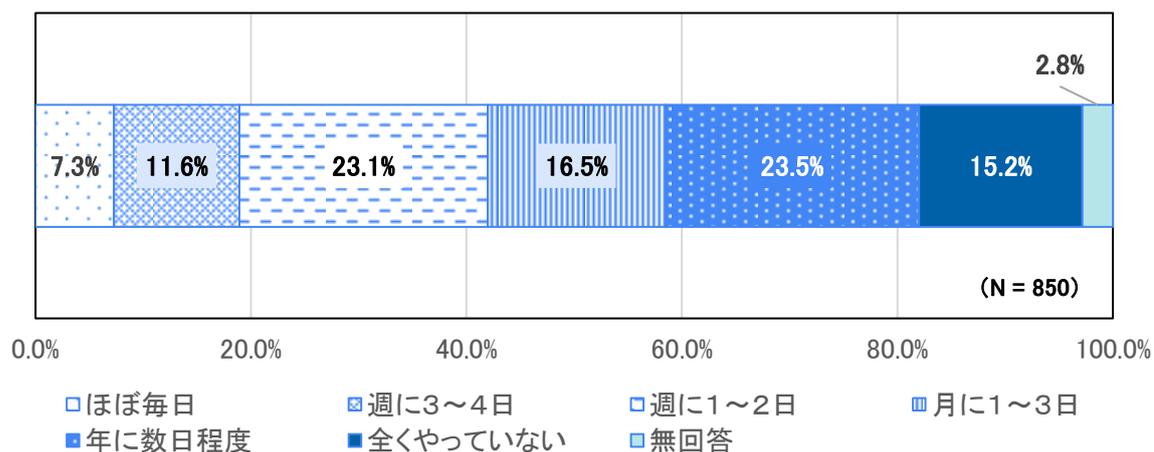
■小中学生(性別×年齢)



■市民アンケート

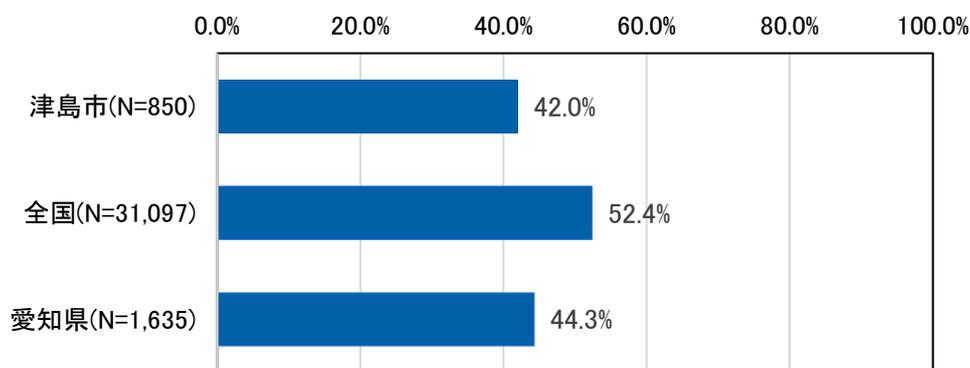
問9 運動やスポーツを行った日数のうち、汗をかく運動を30分以上行った日数は、およそ何日くらいになりますか。(○は1つ)

- ・ 「年に数日程度」が23.5%と最も多くなっている。
- ・ 週1日以上汗をかく運動を行った(「ほぼ毎日」「週に3~4日」「週に1~2日」の計)割合が42.0%となっている。



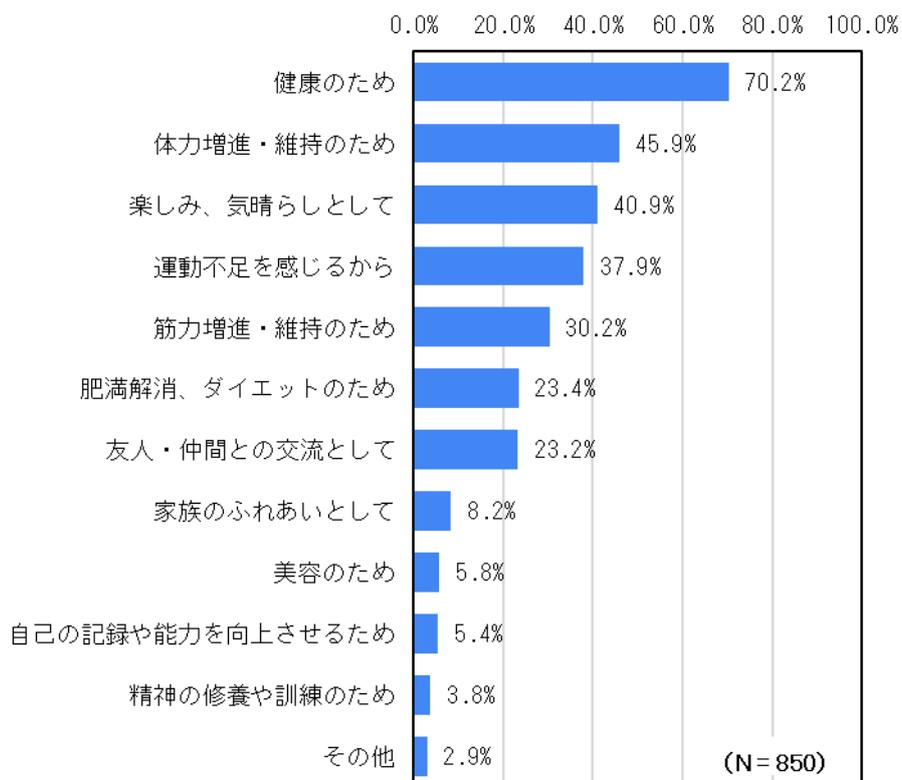
【国の調査との比較】 週1日以上汗をかく運動

- ・ 本市の週1日以上汗をかく運動を行った割合は、全国、愛知県の割合に比べ低い状況となっている。



問 11 あなたが、運動やスポーツを行ったのはどのような理由からですか。（○はいくつでも）

- ・ 「健康のため」が 70.2%と最も多く、次いで「体力増進・維持のため」が 45.9%、「楽しみ、気晴らしとして」が 40.9%となっている。



### ■性別／性別×年齢

- ・ 「男性 16～20 歳代」「女性 16～20 歳代」では、「楽しみ、気晴らしとして」が最も多くなっている。
- ・ 「女性 30 歳代」では「肥満解消、ダイエットのため」や「女性 40 歳代」で「運動不足を感じるから」といった回答がある。

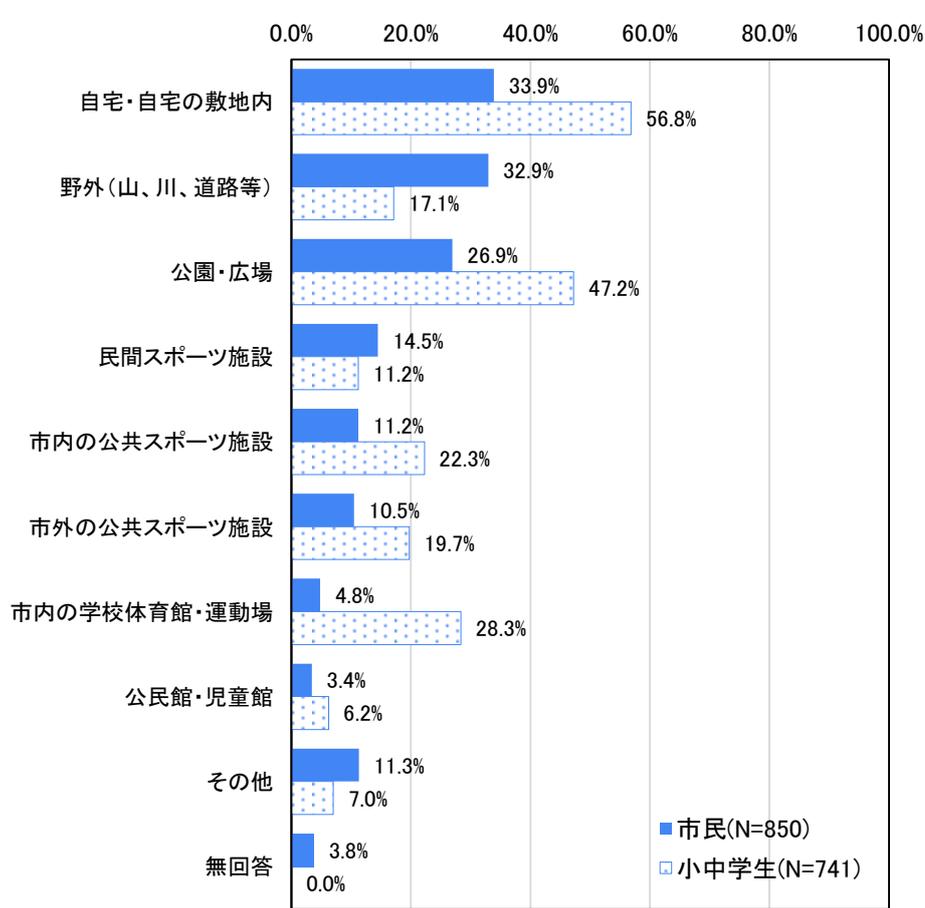
	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として	美容のため	肥満解消、ダイエットのため	その他
全体 (N=850)	70.2%	45.9%	30.2%	40.9%	37.9%	3.8%	5.4%	8.2%	23.2%	5.8%	23.4%	2.9%
男性 16～29 歳 (N=48)	33.3%	33.3%	41.7%	56.3%	18.8%	12.5%	20.8%	2.1%	33.3%	2.1%	12.5%	6.3%
男性 30～39 歳 (N=19)	63.2%	52.6%	15.8%	31.6%	36.8%	10.5%	10.5%	21.1%	10.5%	0.0%	31.6%	0.0%
男性 40～49 歳 (N=40)	75.0%	45.0%	20.0%	50.0%	30.0%	5.0%	7.5%	20.0%	12.5%	2.5%	35.0%	0.0%
男性 50～59 歳 (N=60)	60.0%	50.0%	10.0%	43.3%	30.0%	3.3%	13.3%	6.7%	33.3%	0.0%	35.0%	6.7%
男性 60～69 歳 (N=56)	75.0%	51.8%	12.5%	30.4%	42.9%	0.0%	1.8%	12.5%	30.4%	0.0%	26.8%	1.8%
男性 70 歳以上 (N=154)	74.0%	42.9%	8.4%	40.3%	39.0%	3.9%	5.8%	5.2%	24.7%	0.0%	11.7%	1.9%
女性 16～29 歳 (N=55)	41.8%	50.9%	29.1%	56.4%	32.7%	0.0%	10.9%	3.6%	25.5%	18.2%	40.0%	7.3%
女性 30～39 歳 (N=32)	56.3%	46.9%	18.8%	40.6%	40.6%	12.5%	3.1%	31.3%	3.1%	15.6%	43.8%	3.1%
女性 40～49 歳 (N=61)	78.7%	50.8%	26.2%	41.0%	54.1%	3.3%	1.6%	14.8%	11.5%	16.4%	41.0%	3.3%
女性 50～59 歳 (N=66)	80.3%	54.5%	37.9%	47.0%	50.0%	1.5%	1.5%	12.1%	18.2%	15.2%	36.4%	3.0%
女性 60～69 歳 (N=94)	83.0%	45.7%	40.4%	34.0%	34.0%	3.2%	0.0%	4.3%	13.8%	7.4%	16.0%	2.1%
女性 70 歳以上 (N=158)	79.1%	41.1%	25.9%	34.2%	39.2%	0.0%	2.5%	3.2%	32.3%	3.2%	10.8%	1.9%

※上位 3 位を着色

問 12 あなたは、主にどのようなところでスポーツを行いましたか。（〇はいくつでも）

- ・ 市民・小中学生共に「自宅・自宅の敷地内」、「公園・広場」が多くなっている。
- ・ 市民では「野外」の割合が多いのに対し、小中学生では少なくなっている。一方、小中学生では「市内の学校体育館・運動場」や「市内の公共スポーツ施設」の割合が多くなっている。

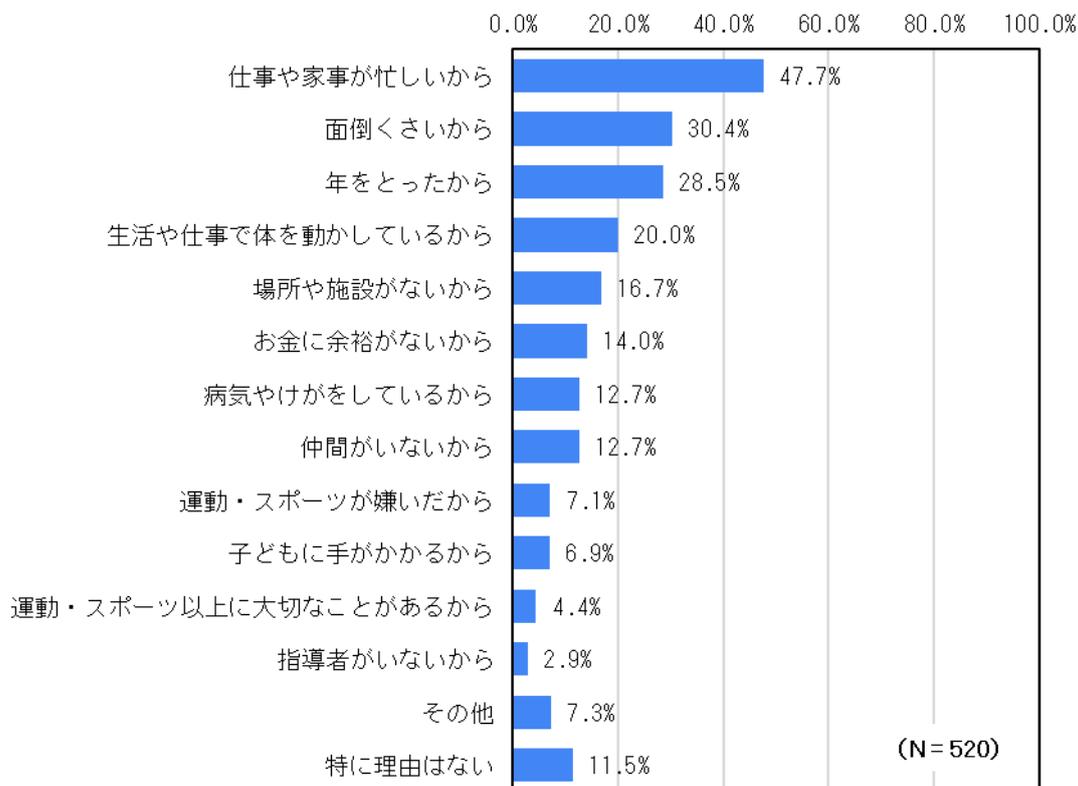
■市民・小中学生アンケートの比較



問7で「この1年間に運動やスポーツはしなかった」、問8で「月に1～3日」、「年に数日程度」のいずれかを選択した方に伺います。

問13 週に1回以上の運動やスポーツを実施できなかったのはどのような理由からですか。  
(○はいくつでも)

- 「仕事や家事が忙しいから」が47.7%と最も多く、次いで「面倒くさいから」が30.4%、「年をとったから」が28.5%となっている。



### ■性別／性別×年齢

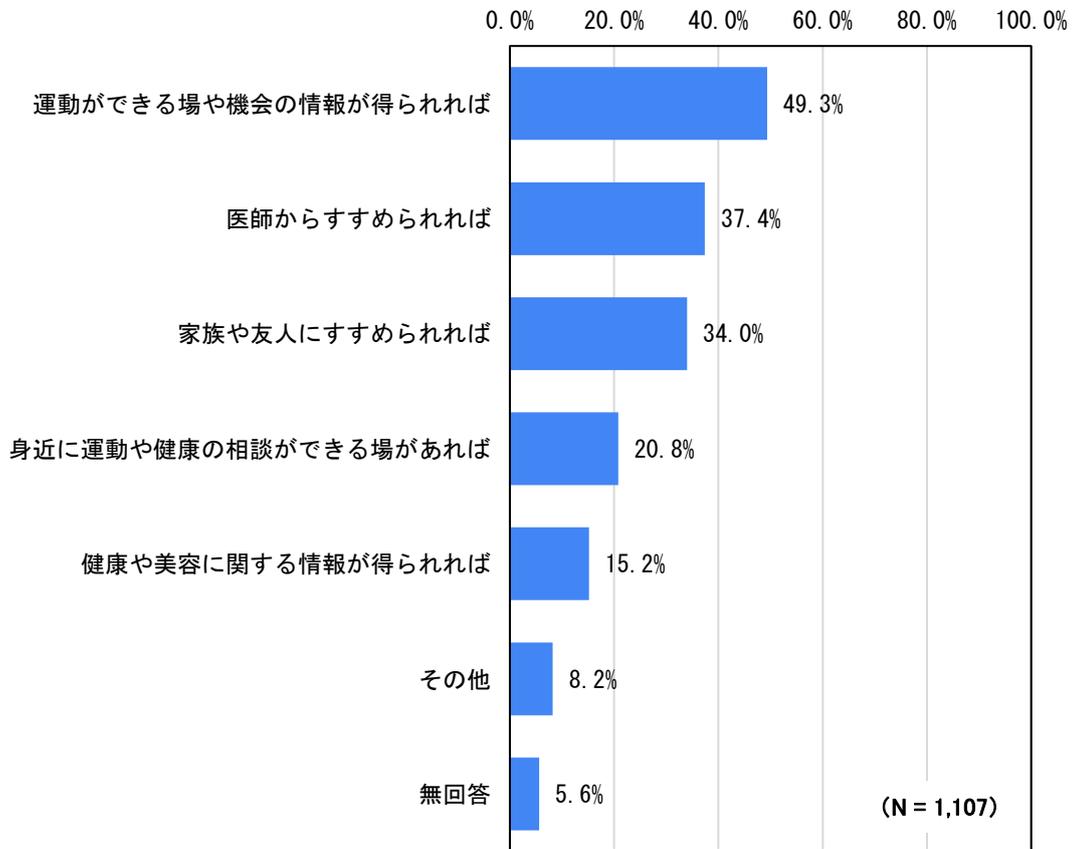
- 「男性30・60歳代」「女性16～20歳」では、「面倒くさいから」が多く、「女性30・40歳代」では「子供に手がかかるから」といった回答が多くなっている。
- 「男性16～20歳」「男性30・40・50歳代」「女性16～20歳」では、「場所や施設がないから」が多い。
- 「男性50歳代」「女性50歳代」では、「お金の余裕がないから」が多い。

	仕事や家事が忙しいから	子どもに手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がいないから	指導者がいないから	お金の余裕がないから	運動・スポーツが嫌いだから	面倒くさいから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	生活や仕事で体を動かしているから	その他	特に理由はない
全体(N=520)	47.7%	6.9%	12.7%	28.5%	16.7%	12.7%	2.9%	14.0%	7.1%	30.4%	4.4%	20.0%	7.3%	11.5%
男性16～29歳(N=25)	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.0%	8.0%	4.0%	12.0%	4.0%	16.0%	4.0%	8.0%	8.0%	4.0%
男性30～39歳(N=18)	66.7%	22.2%	0.0%	16.7%	33.3%	5.6%	5.6%	16.7%	16.7%	72.2%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%
男性40～49歳(N=33)	54.5%	3.0%	6.1%	15.2%	27.3%	9.1%	0.0%	12.1%	3.0%	36.4%	6.1%	6.1%	3.0%	6.1%
男性50～59歳(N=53)	64.2%	3.8%	9.4%	18.9%	22.6%	13.2%	0.0%	24.5%	7.5%	22.6%	1.9%	17.0%	3.8%	5.7%
男性60～69歳(N=41)	43.9%	0.0%	24.4%	26.8%	2.4%	17.1%	0.0%	7.3%	14.6%	43.9%	0.0%	26.8%	0.0%	9.8%
男性70歳以上(N=59)	13.6%	0.0%	30.5%	84.7%	11.9%	13.6%	3.4%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	20.3%	11.9%	27.1%
女性16～29歳(N=47)	46.8%	0.0%	4.3%	0.0%	19.1%	17.0%	8.5%	17.0%	14.9%	53.2%	14.9%	19.1%	6.4%	8.5%
女性30～39歳(N=28)	75.0%	50.0%	3.6%	21.4%	21.4%	17.9%	0.0%	32.1%	10.7%	46.4%	7.1%	3.6%	7.1%	3.6%
女性40～49歳(N=50)	62.0%	28.0%	0.0%	8.0%	14.0%	8.0%	2.0%	20.0%	8.0%	34.0%	2.0%	8.0%	4.0%	2.0%
女性50～59歳(N=45)	66.7%	0.0%	8.9%	13.3%	20.0%	15.6%	6.7%	22.2%	8.9%	28.9%	4.4%	20.0%	2.2%	13.3%
女性60～69歳(N=55)	49.1%	1.8%	14.5%	16.4%	7.3%	5.5%	0.0%	12.7%	3.6%	21.8%	7.3%	36.4%	10.9%	12.7%
女性70歳以上(N=58)	20.7%	0.0%	27.6%	75.9%	19.0%	17.2%	5.2%	15.5%	0.0%	13.8%	1.7%	36.2%	19.0%	22.4%

※上位3位を着色

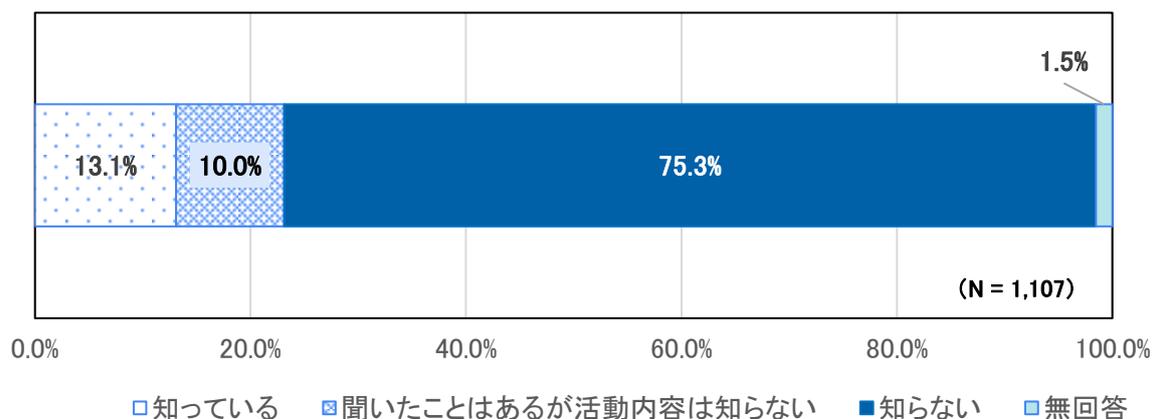
問 14 あなたは、運動やスポーツを実施していない人がどのようなきっかけがあれば、実施するようになると思いますか。（〇はいくつでも）

- ・ 「運動ができる場や機会の情報が得られれば」が 49.3%と最も多く、次いで「医師からすすめられれば」が 37.4%、「家族や友人にすすめられれば」が 34.0%となっている。



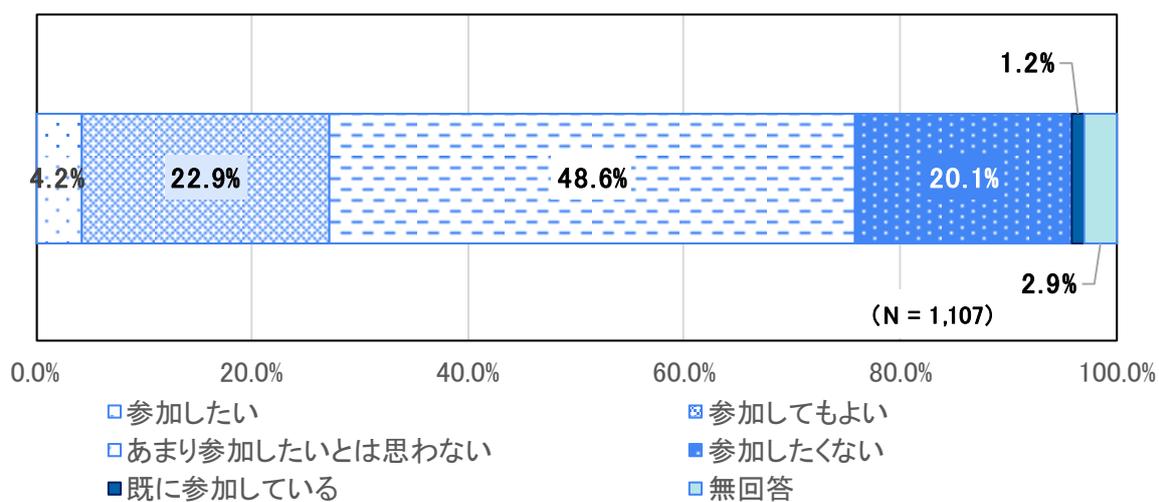
問 15 津島市総合型地域スポーツクラブ「ホワイトウイングズ」を知っていますか。(○は1つ)

- ・ 「知っている」「聞いたことはあるが活動内容は知らない」を合わせると 23.1%であり、「知らない」が 75.3%となっている。



問 16 あなたは、津島市総合型地域スポーツクラブ「ホワイトウイングズ」に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- ・ 「参加したい」「参加してもよい」を合わせると 27.1%である一方、「あまり参加したいと思わない」「参加したくない」が 68.7%となっている。

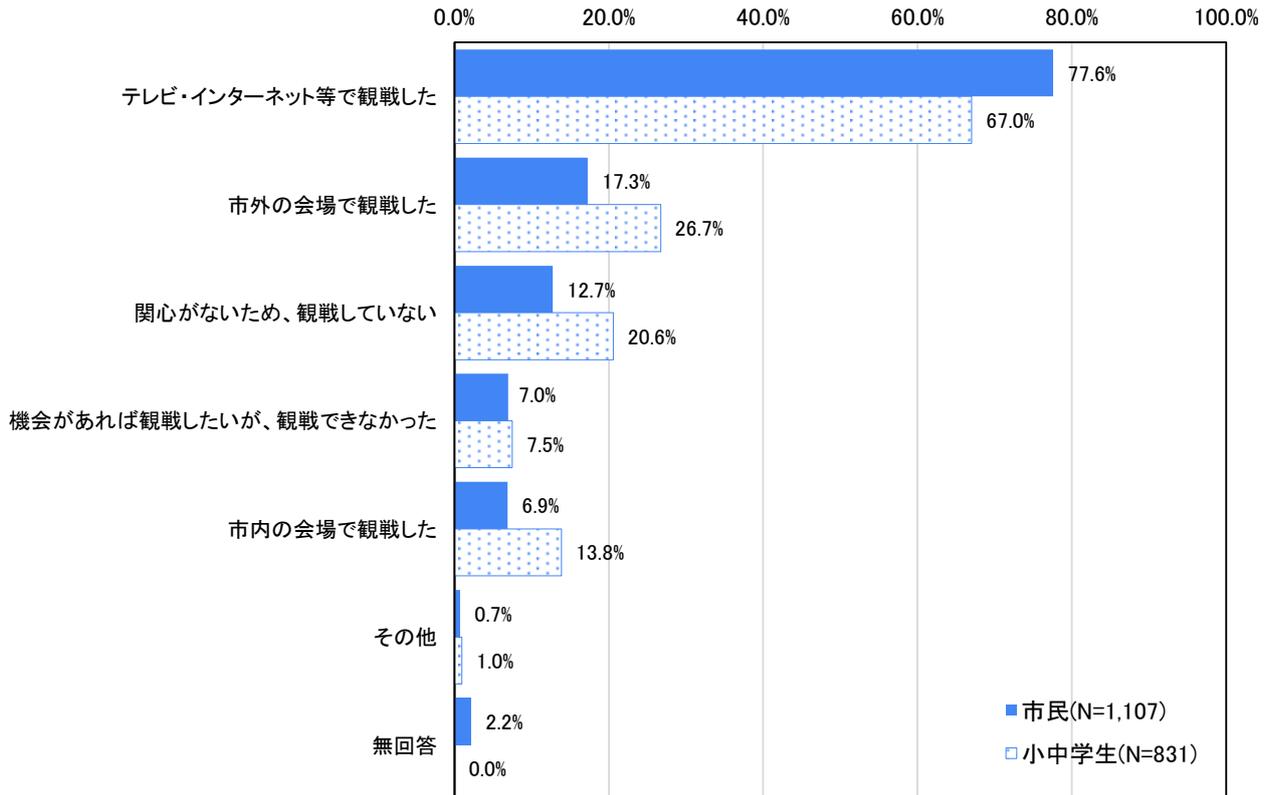


### 3. スポーツの観戦について ～「みる」スポーツ～

問 17 あなたは、この1年間でスポーツを何らかの形でみる機会がありましたか。  
(〇はいくつでも)

- ・ 市民・小中学生共に「テレビ・インターネット等で観戦した」が最も多く、小中学生では「市内の会場で観戦した」「市外の会場で観戦した」が市民よりも多くなっている。
- ・ 一方、小中学生では「関心がないため、観戦していない」が20.6%と、市民よりも多くなっている。

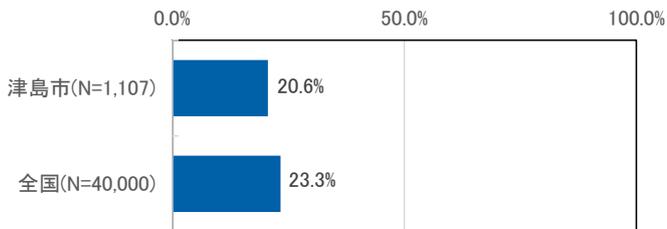
#### ■市民・小中学生アンケートの比較



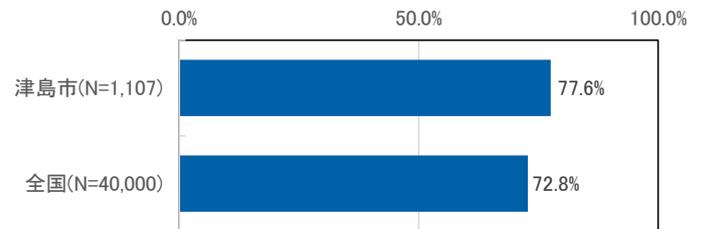
#### 【国の調査との比較】 スポーツの観戦

- ・ 本市のスポーツの直接観戦率は全国とほぼ同水準となっている。
- ・ 本市のスポーツのテレビ等での観戦率は全国に比べ約5ポイント上回っている。

過去1年におけるスポーツの直接観戦率



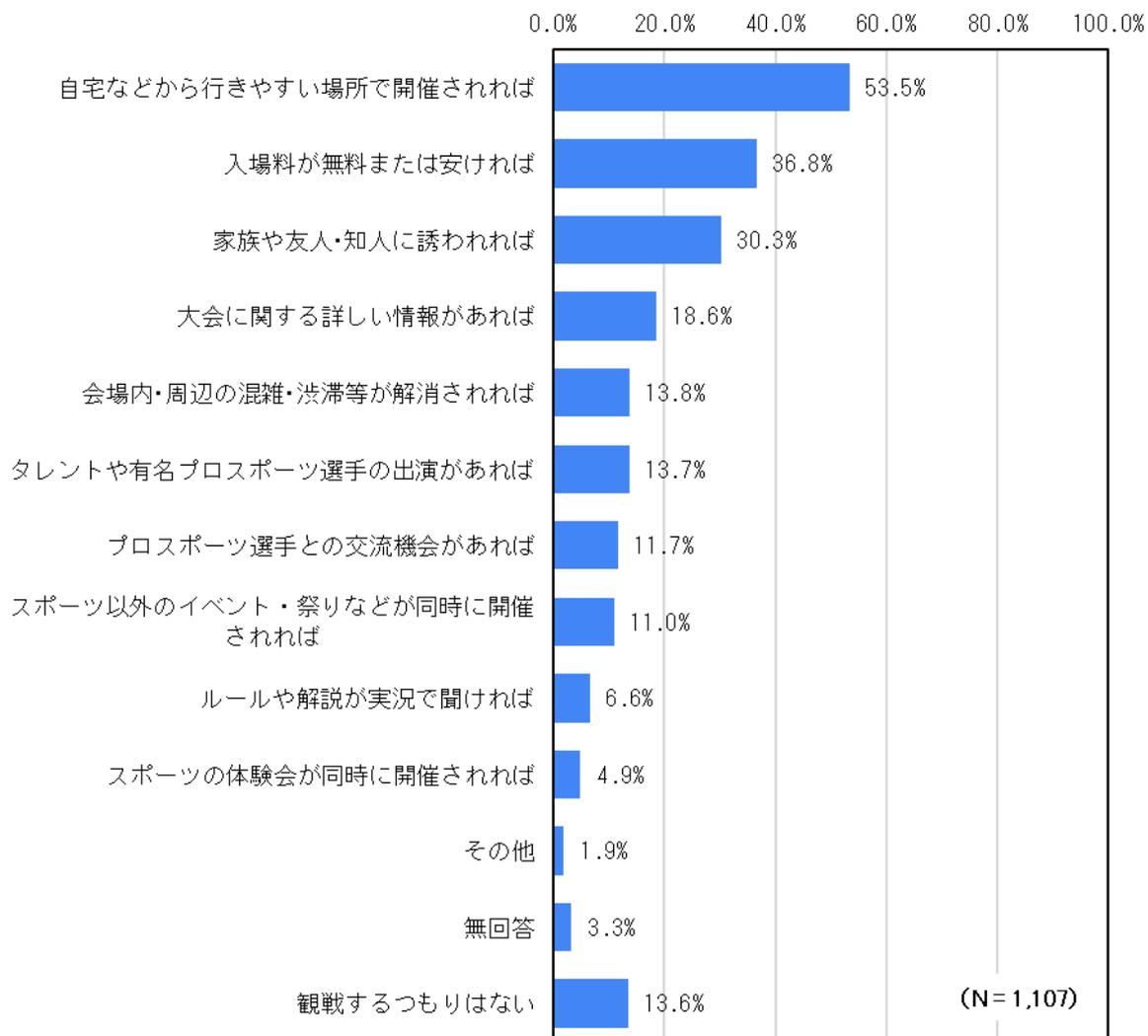
過去1年におけるスポーツのテレビ等での観戦率



注) 愛知県調査データはなし

問 18 あなたはどのような取組・工夫があれば、スポーツを実際に（さらに）観戦してみようと思いますか。（〇はいくつでも）

- ・ 「自宅などから行きやすい場所で開催されれば」が 53.5%と最も多く、次いで「入場料が無料または安ければ」が 36.8%、「家族や友人・知人に誘われれば」が 30.3%となっている。

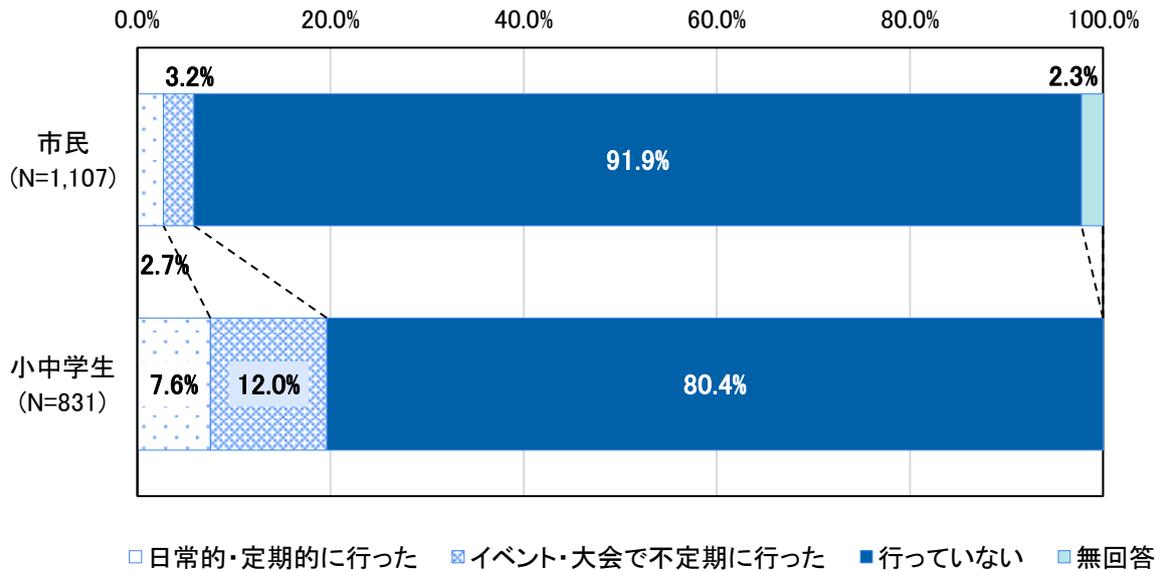


#### 4. スポーツに関するボランティア活動について ～「ささえる」スポーツ～

問 19 この1年間に、スポーツの指導や協力、スポーツ大会の運営、ご自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備等）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。（○は1つ）

- ・ 市民・小中学生共に「行っていない」が8割以上であるが、「日常的・定期的に行った」「イベント・大会で不定期に行った」が市民では5.9%、小中学生19.6%と小中学生の割合が多くなっている。

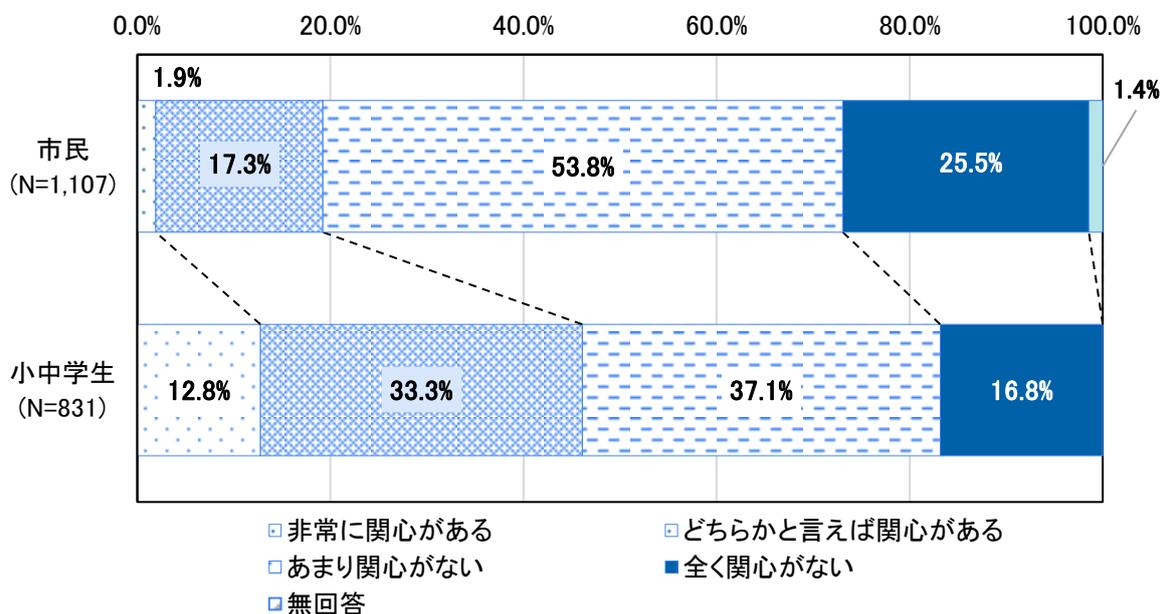
##### ■市民・小中学生アンケートの比較



問 20 あなたは、このようなスポーツに関するボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）

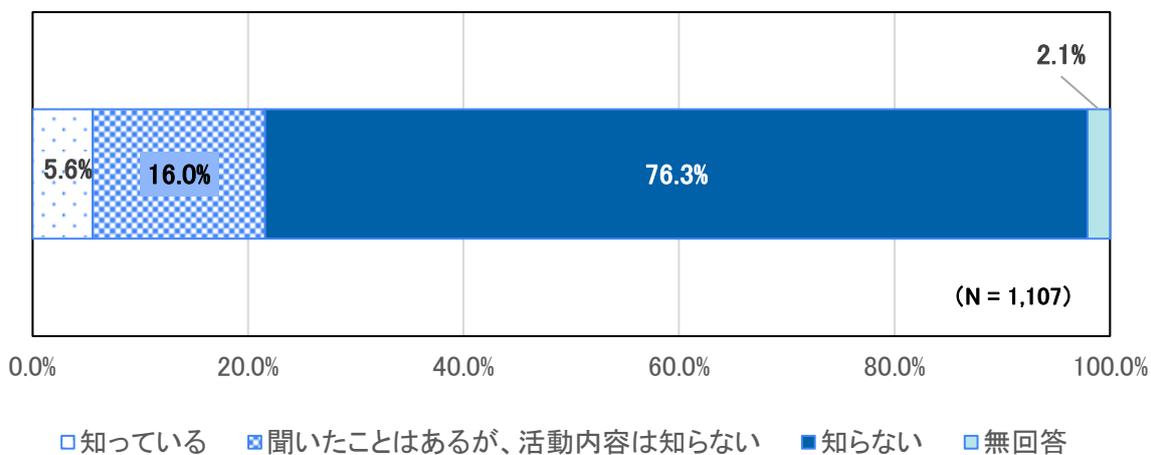
- ・ 「非常に関心がある」「どちらかと言えば関心がある」を合わせると市民が19.2%、小中学生が46.1%であり、小中学生の関心度が高い。

##### ■市民・小中学生アンケートの比較



問 22 津島市スポーツ推進委員を知っていますか。 (○は1つ)

- ・ 「知っている」「聞いたことはあるが、活動内容は知らない」を合わせると 21.6%となっており、「知らない」が76.3%となっている。

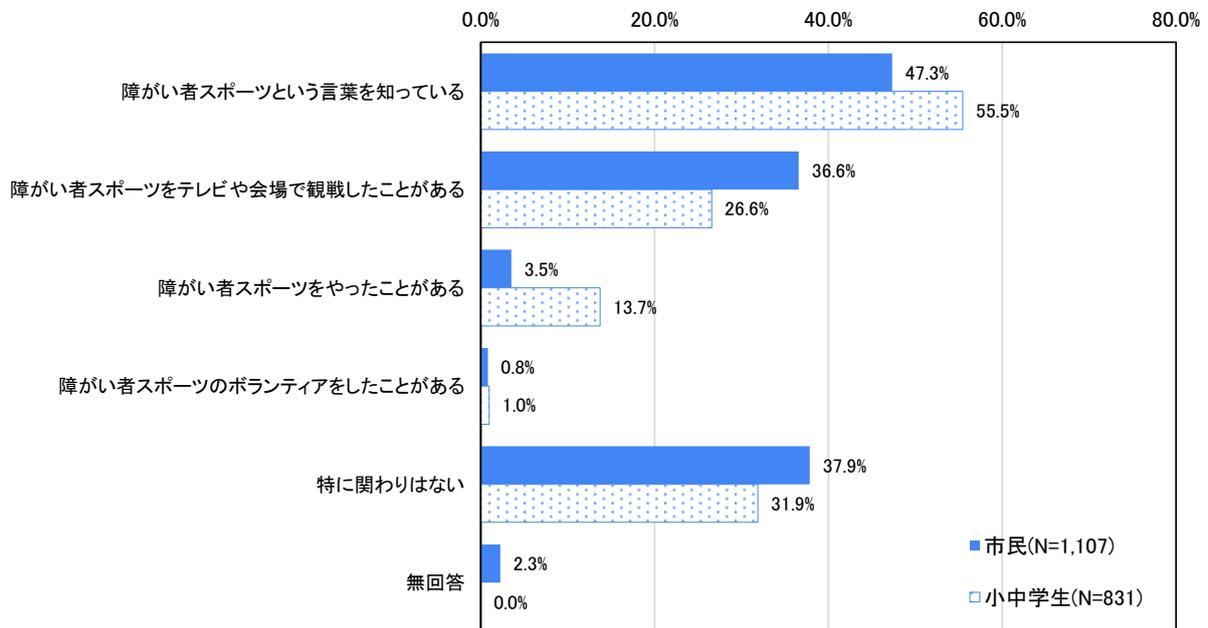


## 5. 共生社会の実現について

問 23 からだやところに障がいがあってもスポーツができるように工夫された「障がい者スポーツ」というものがあります。例えば、車いすテニスやボッチャ、ブラインドサッカーなどの競技がありますが、あなたの「障がい者スポーツ」に対する関わりを教えてください。(〇はいくつでも)

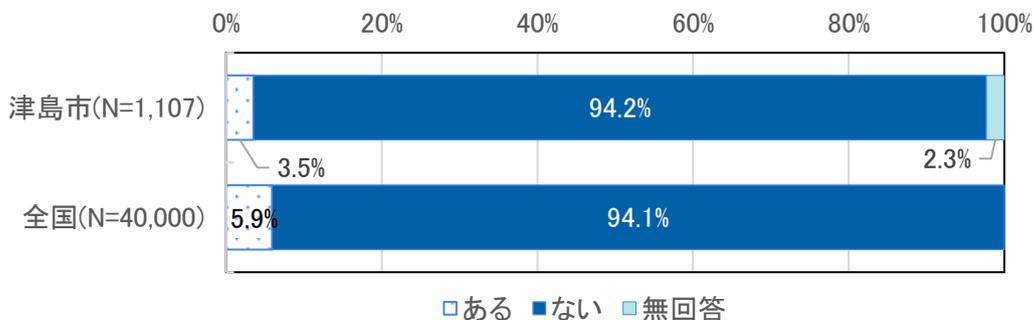
- ・ 「障がい者スポーツという言葉を知っている」が市民では 47.3%、小中学生では 55.5%と小中学生の認知度が高い。
- ・ 一方で、「障がい者スポーツをテレビや会場で観戦したことがある」が市民では 36.6%、小中学生では 26.6%と観戦する機会が小中学生では少ない。
- ・ 「障がい者スポーツをやったことがある」が市民より小中学生が約 10 ポイント上回っている。

### ■市民・小中学生アンケートの比較



### 【国や愛知県の調査との比較】障がい者スポーツ・パラスポーツの体験有無

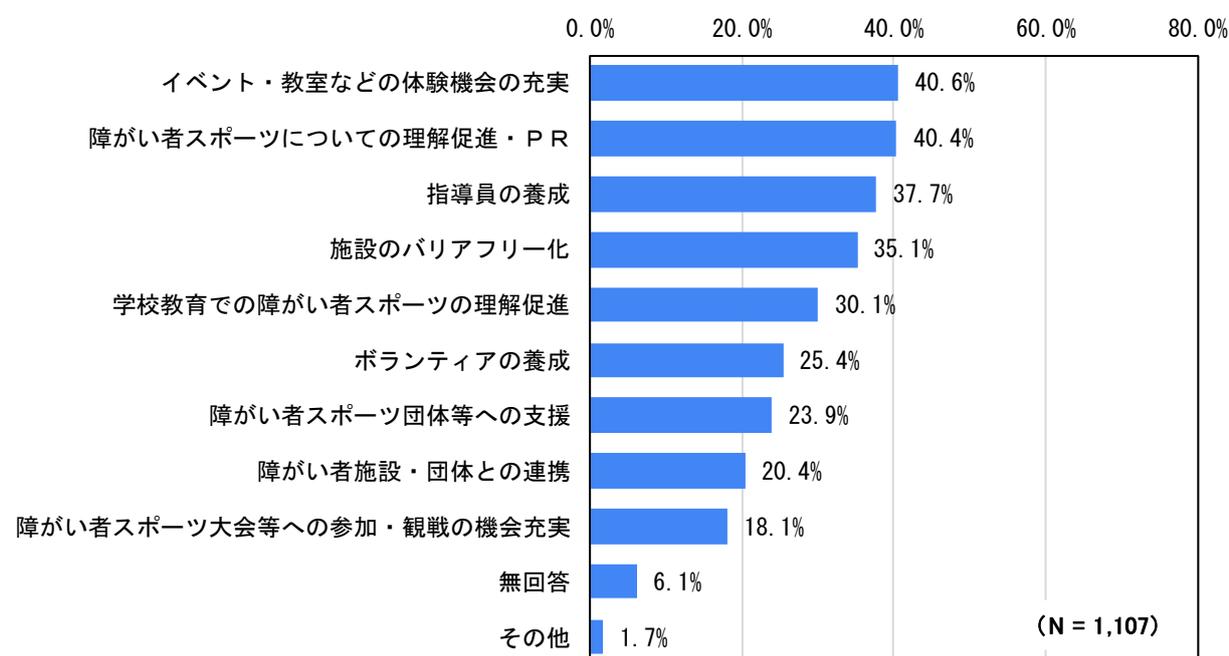
- ・ 障がい者スポーツ・パラスポーツを体験したことがある割合は全国とほぼ同等となっている。



注) 愛知県調査データはなし

問 24 あなたは、津島市において障がいのある人でもスポーツや運動を実施しやすい環境をつくるためにはどのような取組が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

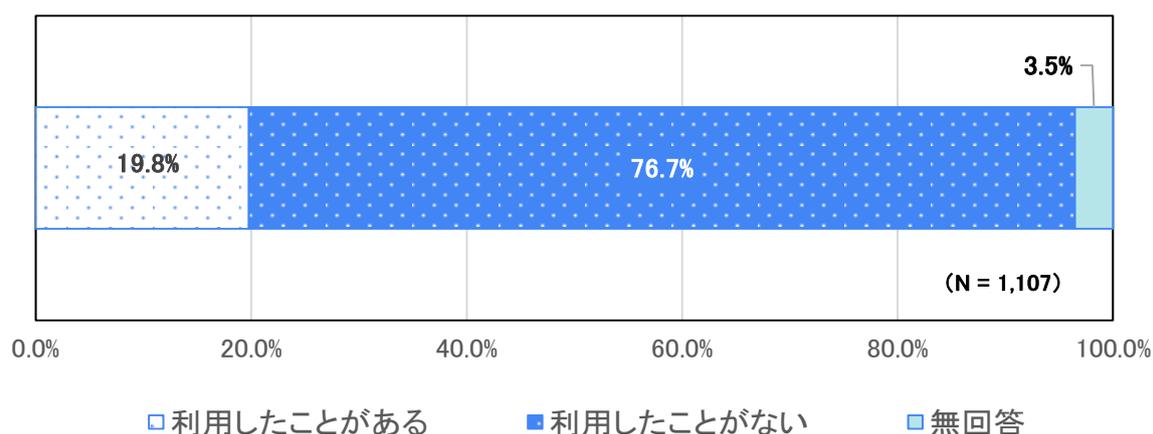
- ・ 「イベント・教室などの体験機会の充実」が40.6%と最も多く、次いで「障がい者スポーツについての理解促進・PR」が40.4%、「指導員の養成」が37.7%となっている。



## 6. 公共スポーツ施設について

問 25 この1年間に、津島市にある公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）を利用したことはありますか。（○は1つ）

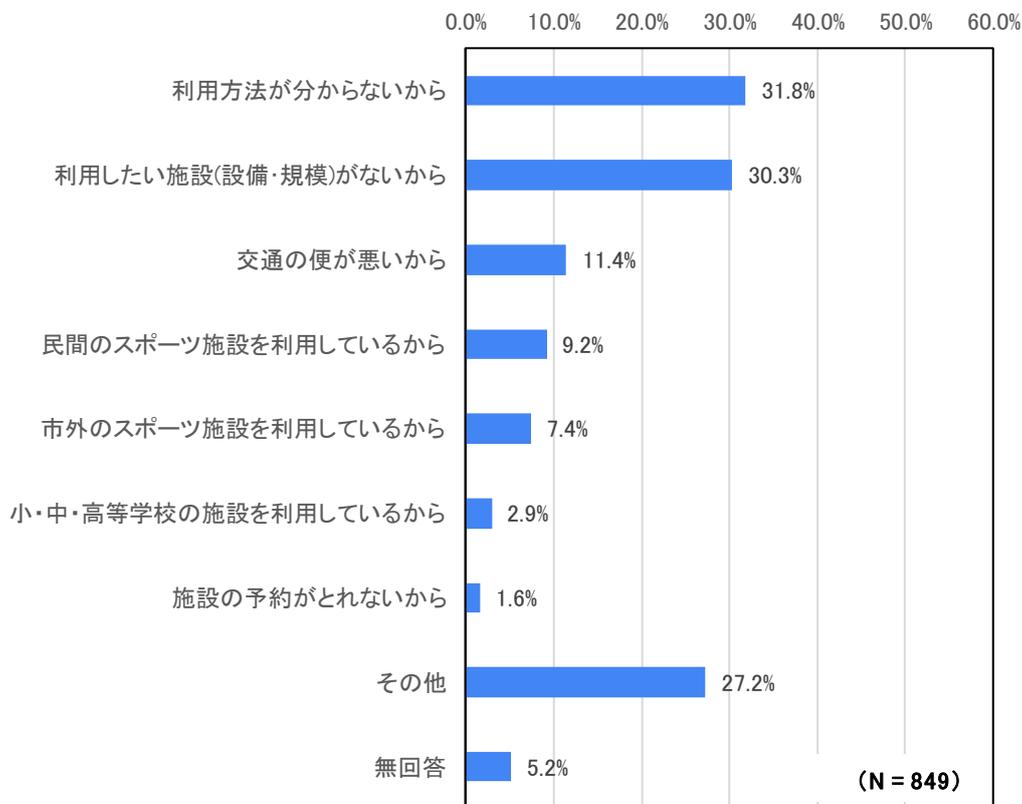
- ・ 「利用したことがない」が76.7%と最も多くなっている。



問 25 で「利用したことがない」を選択した方に伺います。

問 27 利用したことがない理由はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「利用方法が分からないから」が 31.8%と最も多く、次いで「利用したい施設(設備・規模)がないから」が 30.3%となっている。



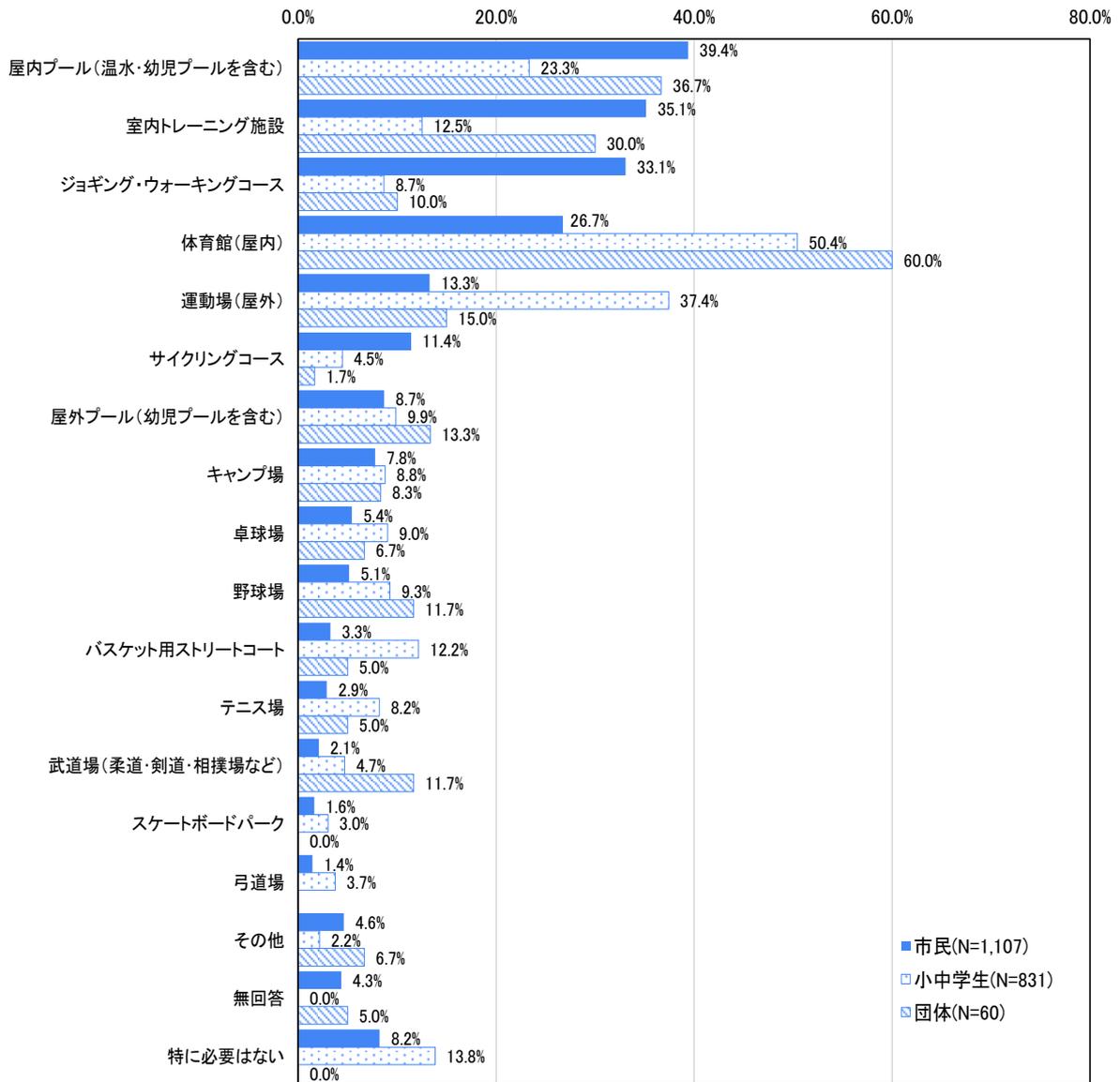
【みなさんに伺います】

問 28 今後、どのような公共スポーツ施設を整備・充実させていくことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- ・ 市民では「屋内プール」「室内トレーニング施設」、小中学生では「体育館」「運動場」、団体では「体育館」「屋内プール」が最も多くなっている。

■市民・小中学生・団体アンケートの比較

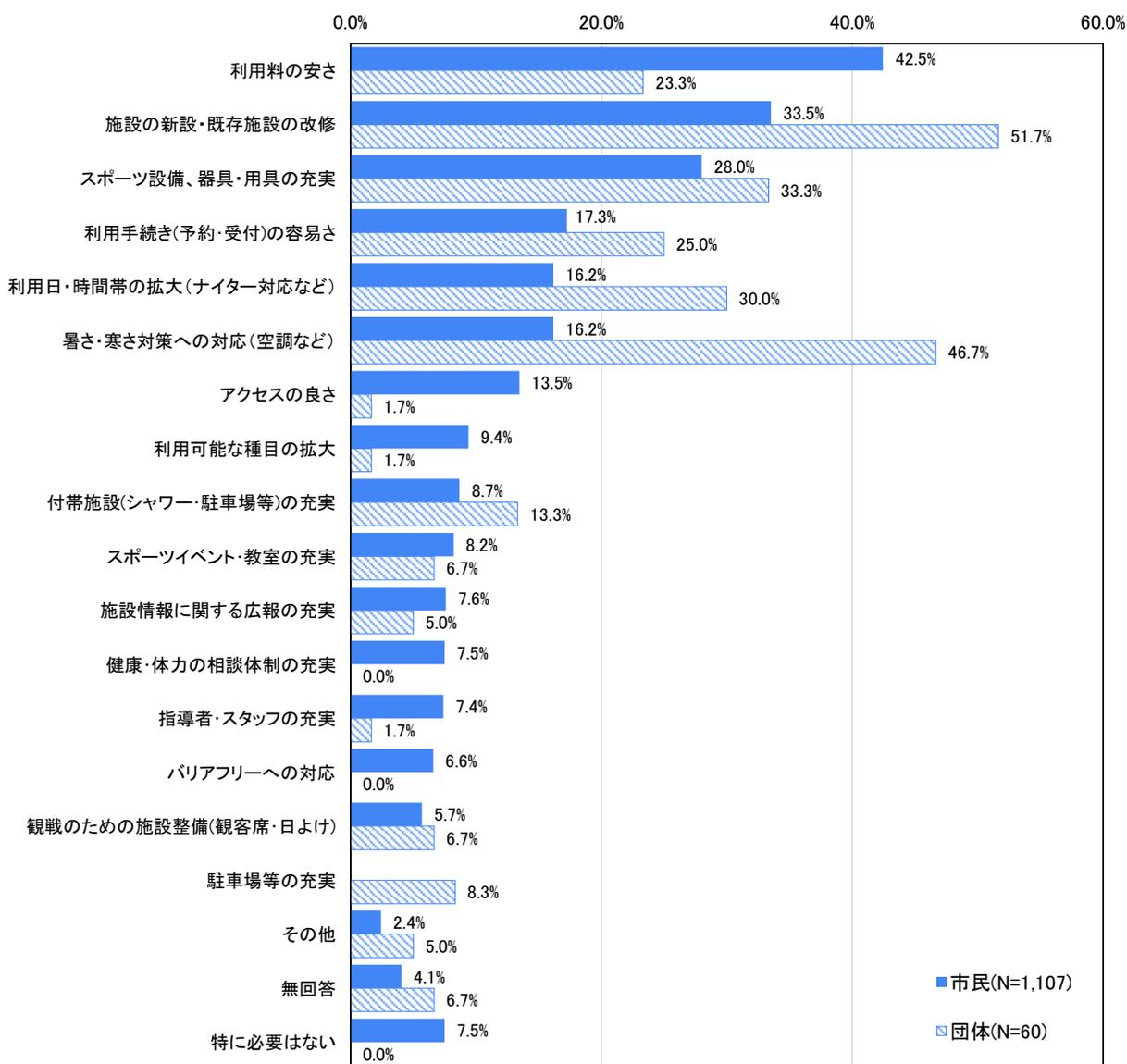


注)団体アンケートでは「弓道」を武道場を含めて質問している

問 29 今後、公共スポーツ施設に求めることはありますか。(〇は3つまで)

- ・ 市民では「利用料の安さ」が42.5%と最も多く、次いで「施設の新設・既存施設の改修」が33.5%となっている。
- ・ 団体では「施設の新設・既存施設の改修」が51.7%と最も多く、次いで「暑さ・寒さ対策への対応」が46.7%となっている。

### ■市民・団体アンケートの比較



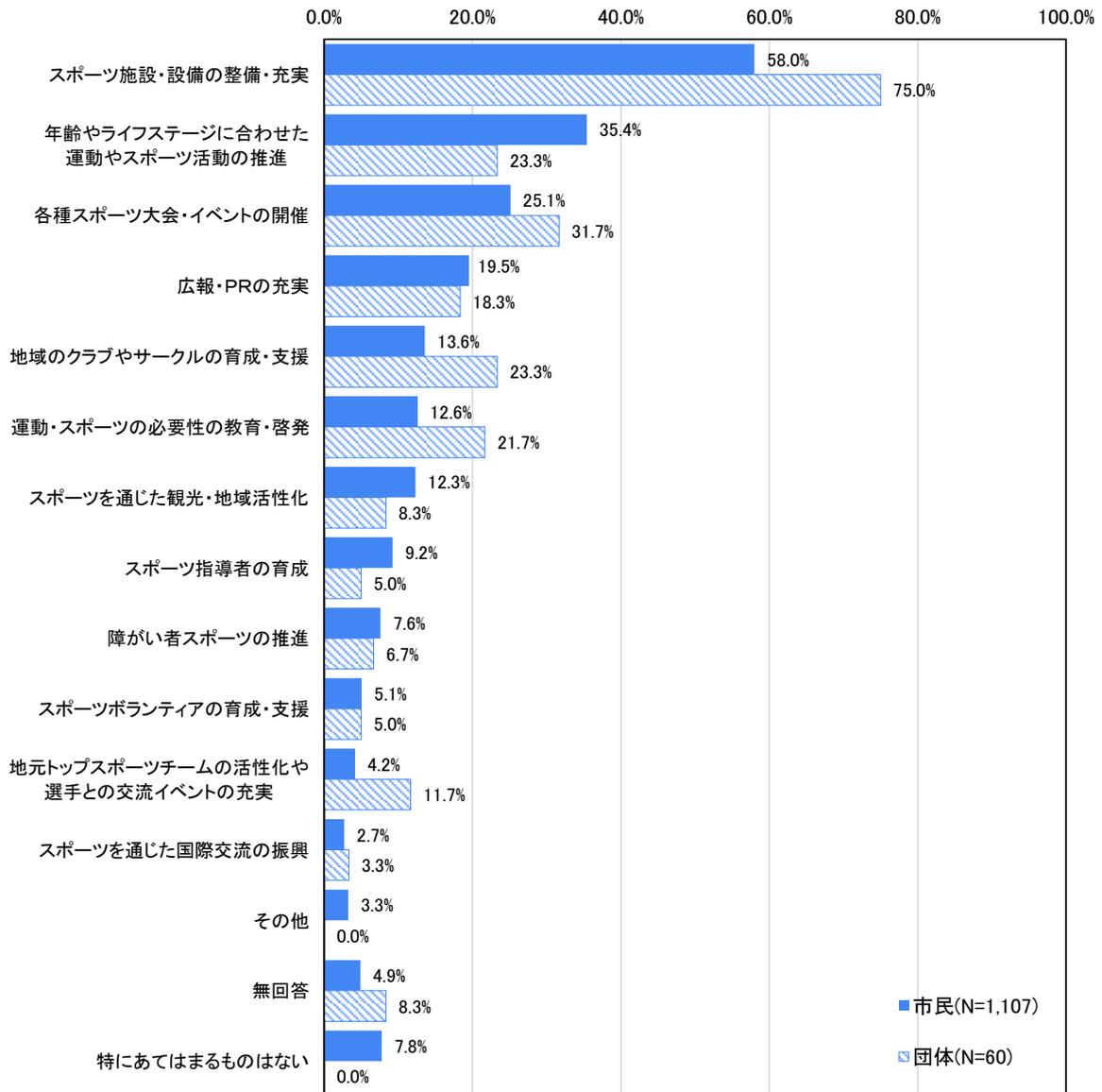
注)団体アンケートでは付帯施設(シャワー・トイレ)、駐車場等の充実を別項目として質問設定した

## 7. スポーツ振興施策について

問 31 津島市のスポーツ振興に向けて、行政に期待することはどれですか。(○は3つまで)

- ・ 市民、団体共に「スポーツ施設・設備の整備・充実」が最も多くなっている。
- ・ 次いで市民では「年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進」、団体では「各種スポーツ大会・イベントの開催」が多くなっている。

### ■市民・団体アンケートの比較



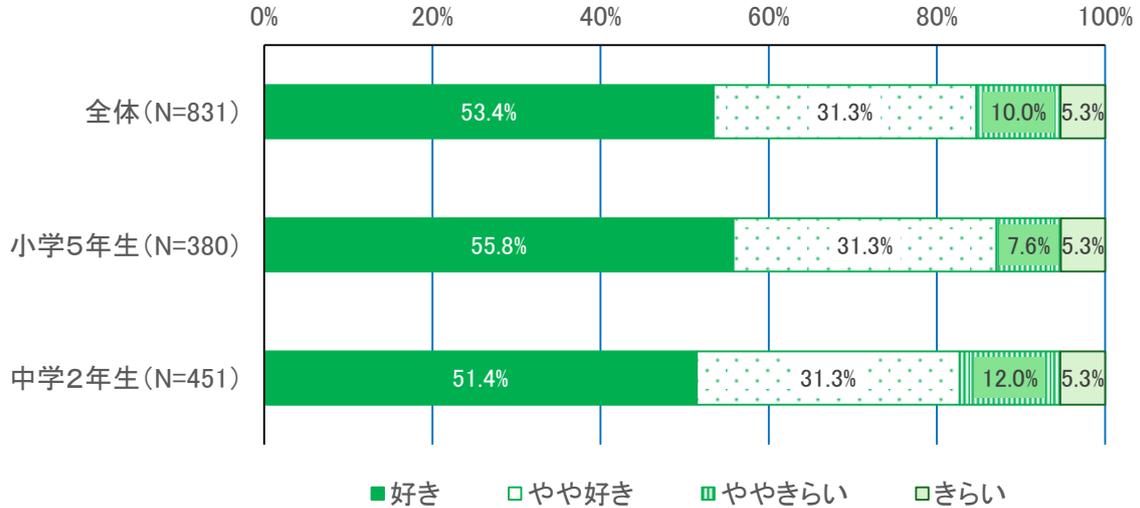
注)団体アンケートでは「地元トップスポーツチームの活性化や選手との交流イベントの充実」の設問を「プロスポーツ選手との交流イベントの充実」として質問設定した

### 第3章 小中学生アンケート調査

#### 1. あなたご自身のことについて

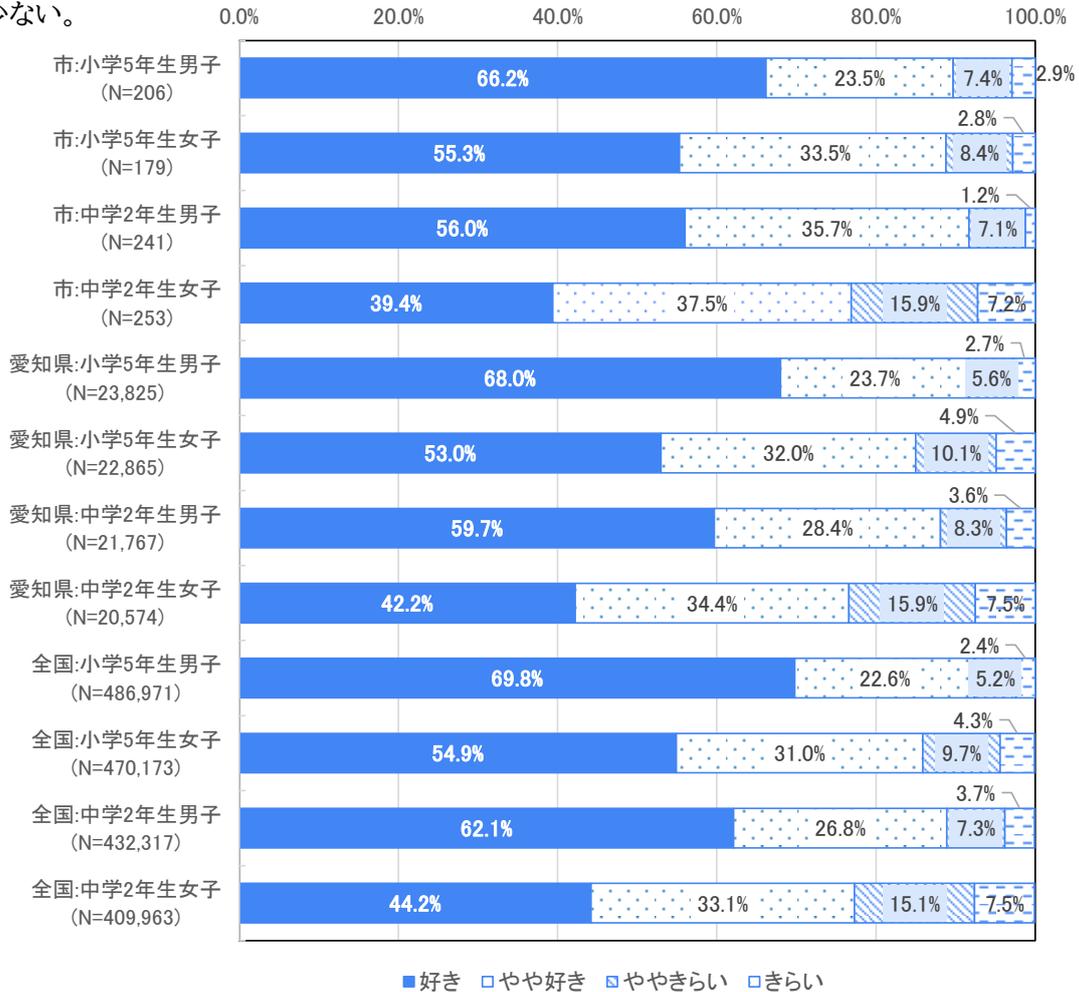
問 4 あなたは、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツすることは好きですか。（○は1つ）

- ・ 全体「好き」「やや好き」を合わせると 84.7%となっており、中学2年生では2ポイント少なくなっている。



#### 【国の調査との比較】 スポーツの好き・きらい

- ・ 愛知県・全国の割合と大きな差はないが、「中学校2年生女子」の「好き」の割合が愛知県・全国と比べやや少ない。

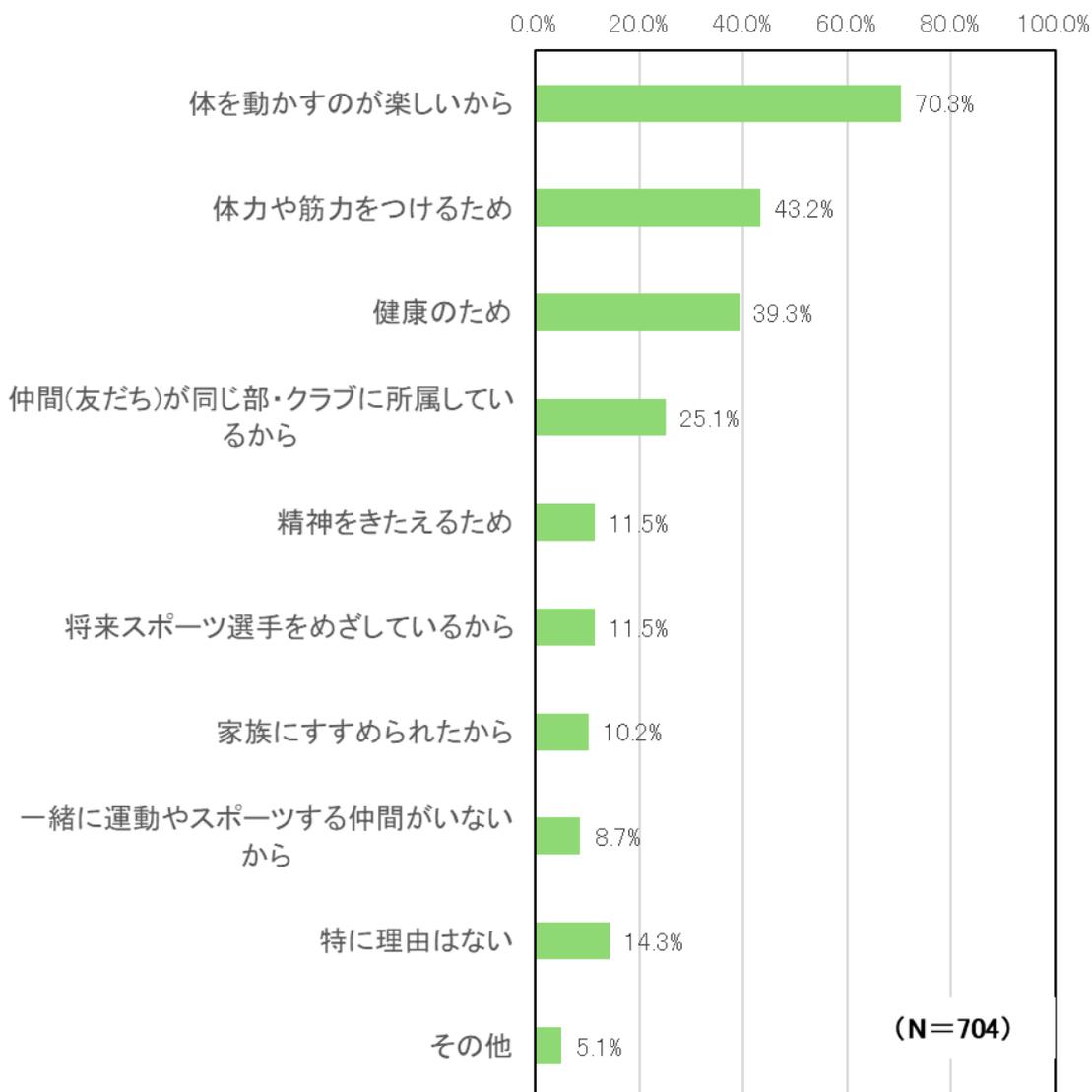


注) 国の調査とはスポーツ庁の「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を指す（市の値についてもスポーツ庁のデータを用いている）。

問 4で「好き」「やや好き」のいずれかを選んだ人に伺います。

問 5 あなたは、どのような理由で運動やスポーツをしていますか。（○はいくつでも）

- ・ 「体を動かすのが楽しいから」が70.3%と最も多く、次いで「体力や筋力をつけるため」が43.2%、「健康のため」が39.3%となっている。



■性別×年齢

- ・ 全体的な傾向と変わりはないが、「女子小学5年生」では「健康のため」の回答がある。

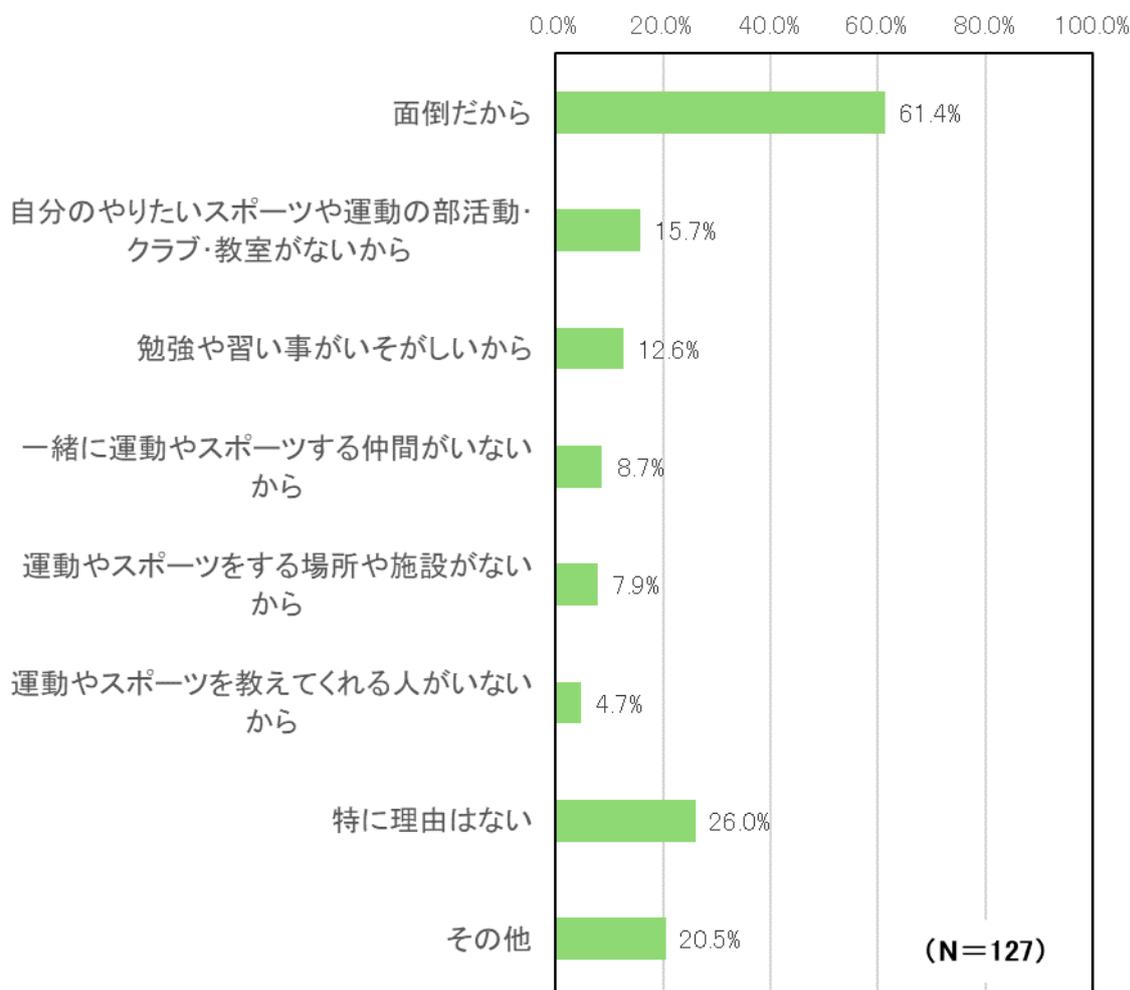
	体を動かすのが楽しいから	体力や筋力をつけるため	健康のため	精神をきたえるため	仲間(友だち)が同じ部・クラブに所属しているから	家族にすすめられたから	将来スポーツ選手をめざしているから	その他	特に理由はない
全体(N=704)	70.3%	43.2%	39.3%	11.5%	25.1%	10.2%	11.5%	5.1%	14.3%
男子小学5年生(N=173)	75.7%	49.7%	47.4%	17.9%	20.2%	10.4%	22.5%	2.3%	11.6%
女子小学5年生(N=155)	67.7%	31.0%	38.7%	4.5%	16.8%	14.2%	3.9%	7.1%	14.2%
男子中学2年生(N=215)	73.0%	51.6%	39.1%	14.4%	33.0%	9.8%	14.9%	5.6%	13.0%
女子中学2年生(N=154)	63.6%	35.7%	31.8%	7.1%	27.3%	5.8%	1.9%	5.8%	19.5%

※上位3位を着色

問 4で「ややきらい」「きらい」のいずれかを選んだ人に伺います。

問 6 あなたが、運動やスポーツをするのがきらいな理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「面倒だから」が 61.4%と最も多く、次いで「自分のやりたいスポーツや運動の部活動・クラブ・教室がないから」が15.7%、「勉強や習い事がいそがしいから」が12.6%となっている。



■性別×年齢

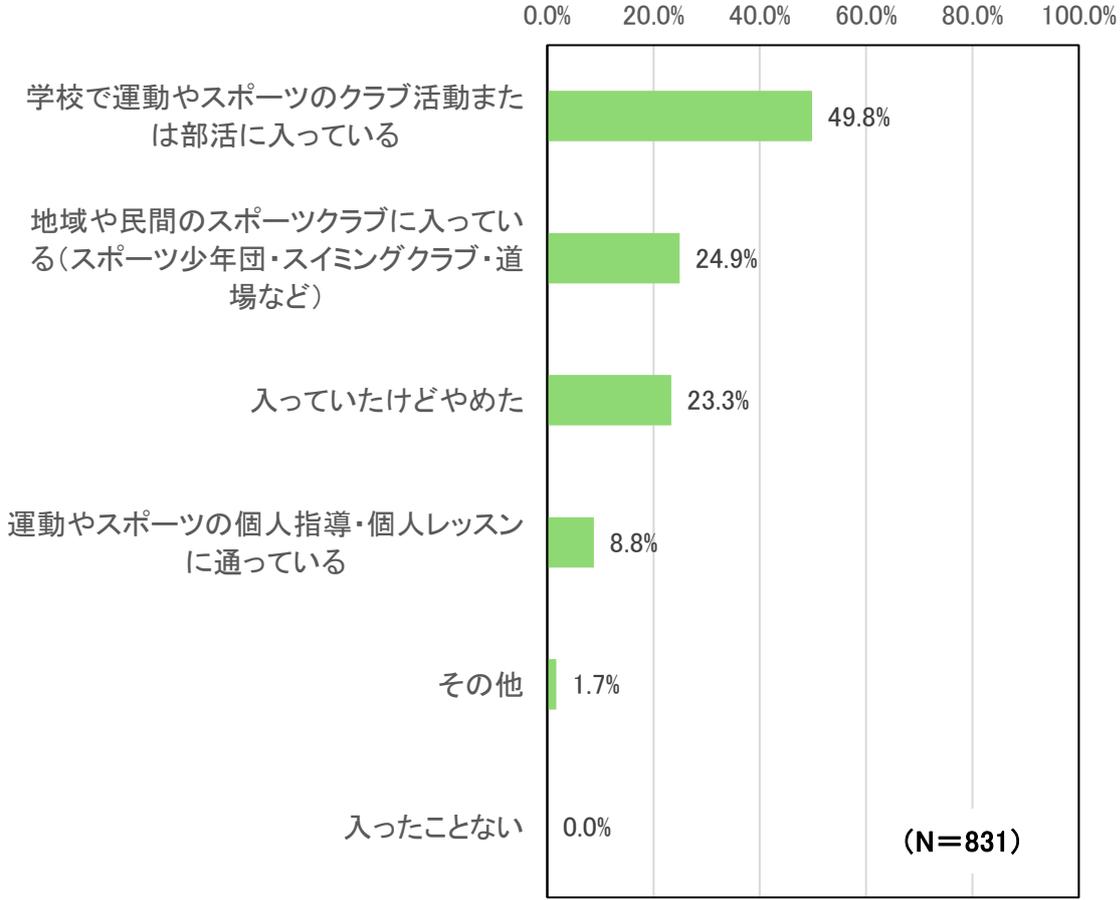
- ・ 全体的な傾向と変わりはないが、「男子小学5年生」では「一緒に運動やスポーツする仲間がないから」、「女子小学5年生」では「勉強や習い事がいそがしいから」の回答がある。

	勉強や習い事がいそがしいから	一緒に運動やスポーツする仲間がないから	運動やスポーツをする場所や施設がないから	運動やスポーツを教えてくれる人がいないから	面倒だから	自分のやりたいスポーツや運動の部活動・クラブ・教室がないから	その他	特に理由はない
全体 (N=127)	12.6%	8.7%	7.9%	4.7%	61.4%	15.7%	20.5%	26.0%
男子小学5年生 (N=13)	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	38.5%	23.1%	7.7%	23.1%
女子小学5年生 (N=34)	14.7%	8.8%	2.9%	0.0%	55.9%	14.7%	29.4%	29.4%
男子中学2年生 (N=25)	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	76.0%	4.0%	8.0%	28.0%
女子中学2年生 (N=49)	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	38.8%	2.0%	4.1%	14.3%

※上位3位を着色

問 7 学校の運動クラブ活動・運動部活や地域のスポーツクラブに入っていますか。  
(○はいくつでも)

- ・ 「学校で運動やスポーツのクラブ活動または部活に入っている」が 49.8%と最も多く、次いで「地域や民間のスポーツクラブに入っている」が 24.9%となっている。
- ・ 一方、「入ったことない」が0%であり、いずれも部活動やスポーツクラブの経験はあることが分かる。



■性別×年齢

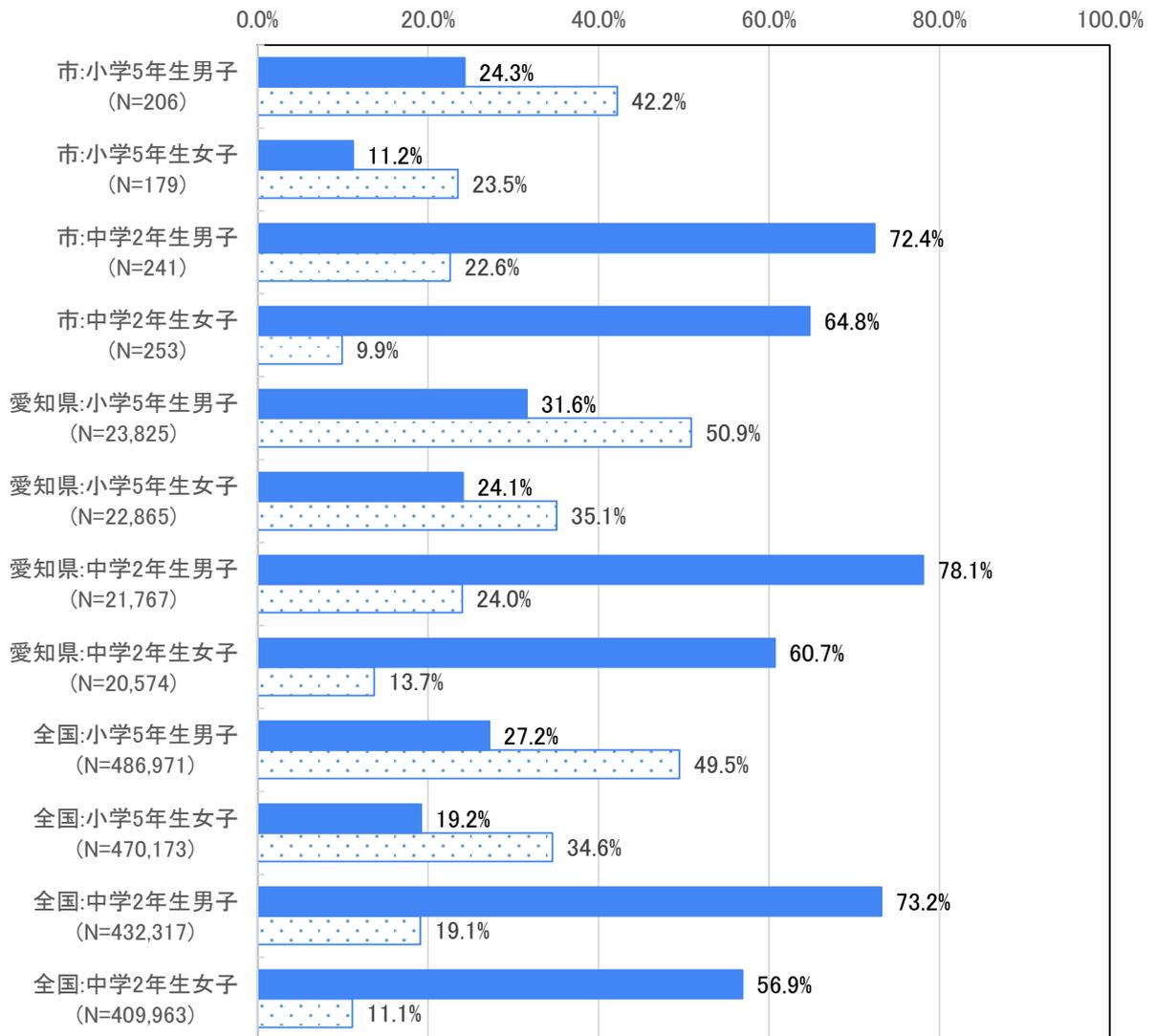
- ・ 「男子小学5年生」では「地域や民間のスポーツクラブに入っている」が 44.1%と多くなっている。

	学校で運動やスポーツのクラブ活動または部活に入っている	地域や民間のスポーツクラブに入っている	運動やスポーツの個人指導・個人レッスンに通っている	その他	入っていたけどやめた	入ったことない
全体 (N=831)	49.8%	24.9%	8.8%	1.7%	23.3%	0.0%
男子小学5年生 (N=186)	34.9%	44.1%	10.8%	1.6%	17.2%	0.0%
女子小学5年生 (N=189)	29.6%	23.3%	7.9%	3.2%	29.1%	0.0%
男子中学2年生 (N=240)	71.7%	25.8%	7.9%	0.0%	18.8%	0.0%
女子中学2年生 (N=203)	56.7%	8.9%	8.4%	2.0%	29.1%	0.0%

※上位2位を着色

【国の調査との比較】 スポーツクラブの所属状況

- ・ 本市の「男子小学5年生」「女子小学5年生」が愛知県・全国の割合に比べ、いずれも少なくなっている。



- 学校の運動クラブ活動・運動部活動に入っている
- 地域のスポーツクラブに入っている(野球やサッカーのチーム、スイミングクラブ、道場など)

注) 国の調査とはスポーツ庁の「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を指す。  
(市の値についてもスポーツ庁のデータを用いている)。

## 第4章 スポーツ団体アンケート調査

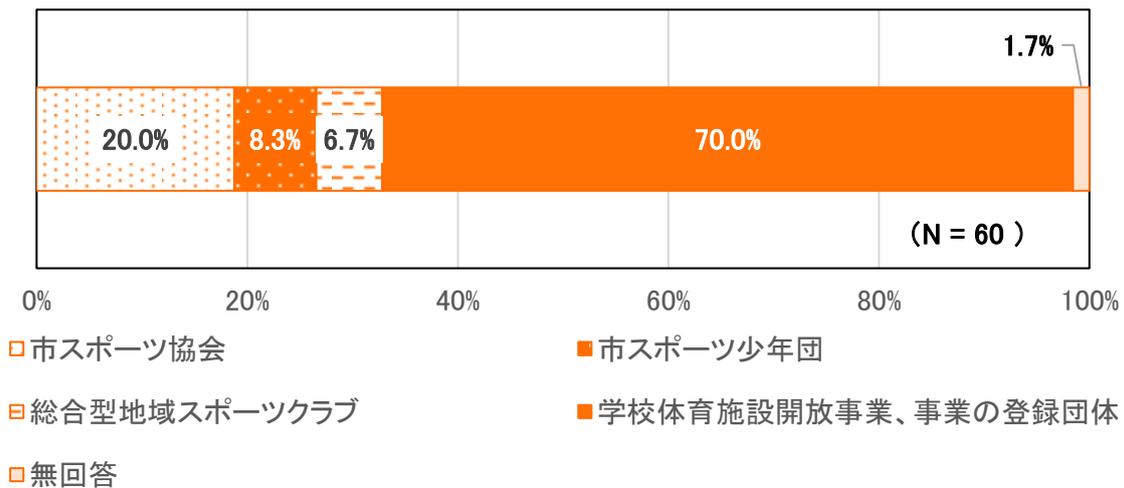
### 1. 貴団体について

問1 貴団体の名称を記載してください。

※掲載省略

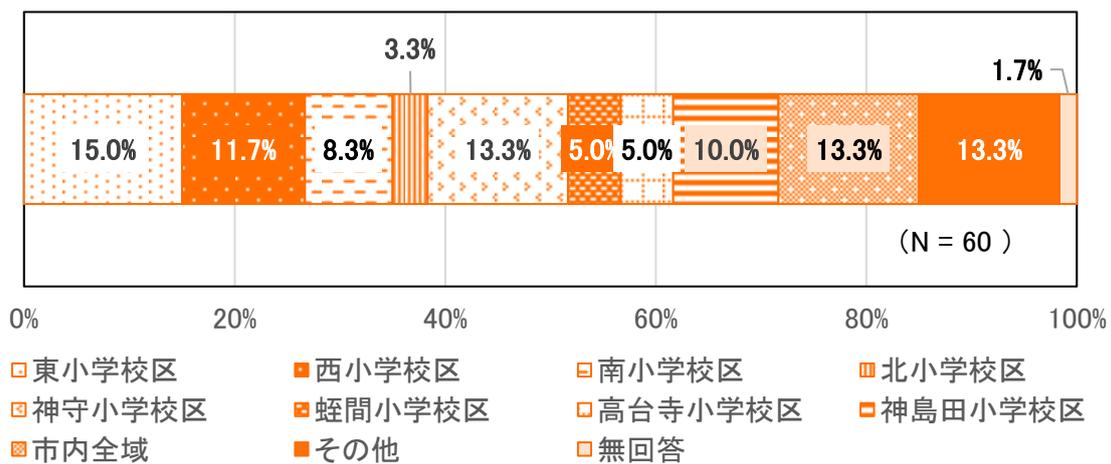
問2 貴団体の加盟・登録団体はどちらになりますか。 (あてはまるもの全てに○)

- ・ 「学校体育施設開放事業、事業の登録団体」が70.0%で一番多く、「市スポーツ協会」が20.0%となっている。



問3 貴団体の主な活動地域 (中心となる小学校区) をお答えください。 (○は1つ)

- ・ 「東小学校区」が15.0%で最も多く、次いで「神守小学校区」「市内全域」が13.3%となっている。

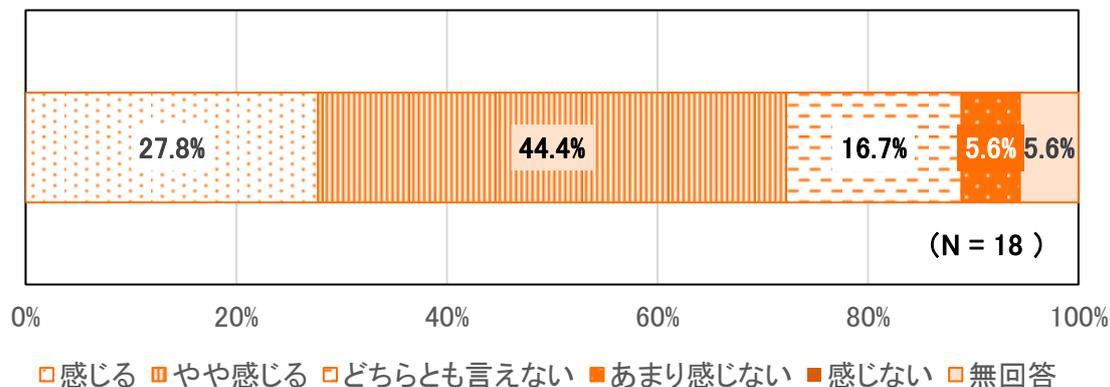


## 2. 運営状況について

※運営状況についての設問については、学校体育施設開放事業、事業の登録団体を対象としていない。

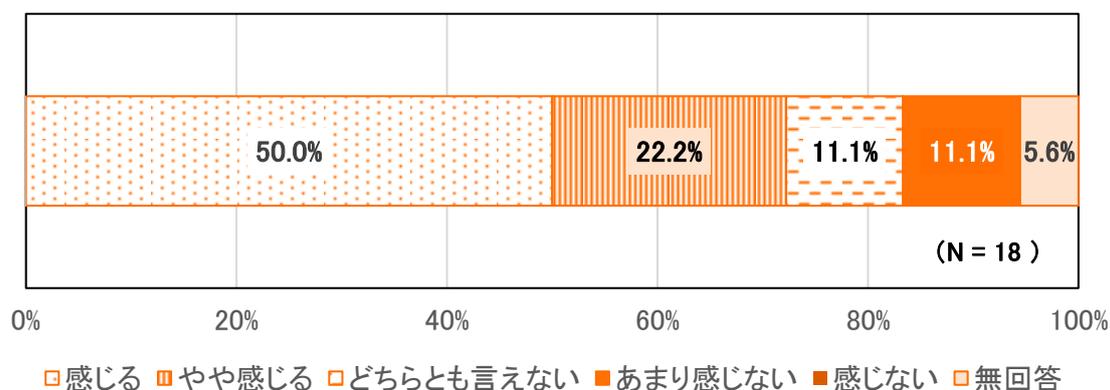
問6 貴団体の団体運営を行う人材が少ないと感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「感じる」「やや感じる」を合わせると72.2%であり、人材不足を感じている団体が多くなっている。



問7 貴団体の団体運営を行う者の高齢化を感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「感じる」「やや感じる」を合わせると72.2%であり、高齢化を感じている団体が多くなっている。

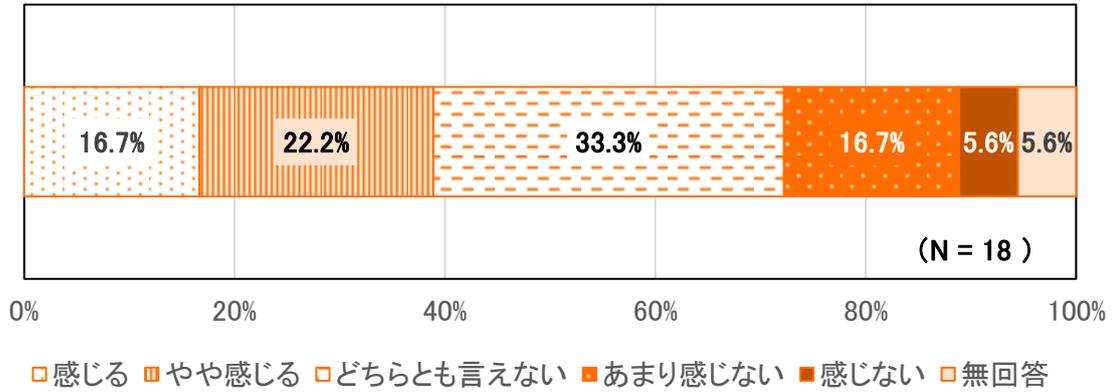


### 3. 指導者等の状況について

※指導者等の状況についての設問は、学校体育施設開放事業、事業の登録団体を対象としていない。

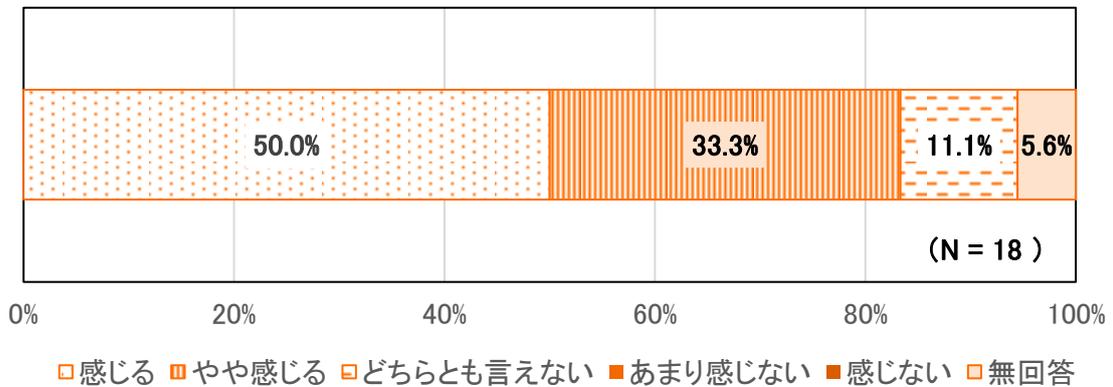
問 10 貴団体の指導者が少ないと感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「感じる」「やや感じる」を合わせると 38.9%であり、指導者不足を感じている団体が多くなっている。



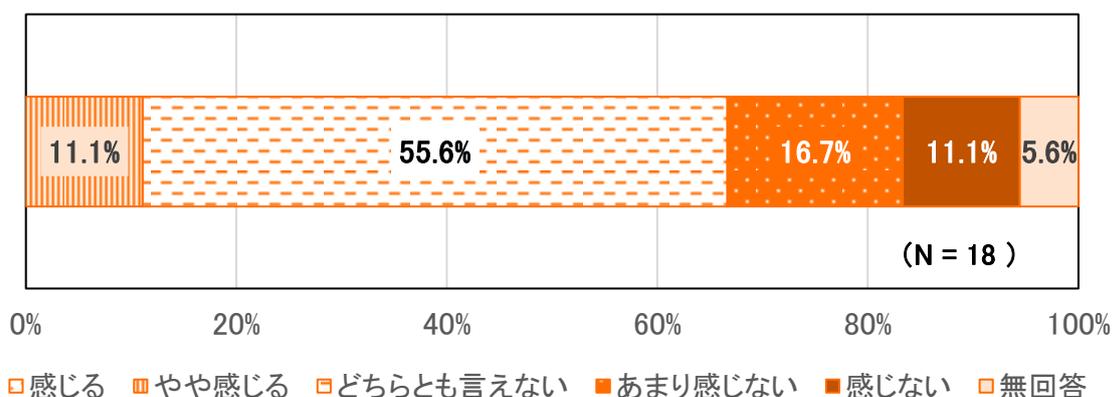
問 11 貴団体の指導者の高齢化を感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「感じる」「やや感じる」を合わせると 83.3%であり、指導者の高齢化を感じている団体が多くなっている。
- ・ なお、「あまり感じない」「感じない」が 0%となっている。



問 12 指導者の育成や派遣体制は整っていると感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「どちらとも言えない」が55.6%と最も多くなっている。
- ・ 「やや感じる」が11.1%である一方、「あまり感じない」「感じない」が27.8%となっており、指導者の育成や派遣体制が整っていないと感じている団体が多い。



問 13 審判員が少ないと感じますか。 (○は1つ)

- ・ 「感じる」「やや感じる」を合わせると50%であり、審判員が少ないと感じている団体が半数である。

